

FMV SERIES

B3FH-A428-04

保存版

必ずお読みください




お使いになるうえでの**注意事項**

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいこと、参考にしていただきたいことを記載しています。添付のマニュアルと共に大切に保管してください。
なお、本書では、本パソコンがご購入時の設定であることを前提に説明しています。

FUJITSU

お使いになるうえでの注意事項

ここでは、本パソコンに添付されているアプリケーションをお使いの際に、知っておいていただきたい注意事項を説明しています。

お使いの機種により、『FMV 本体&オプションガイド』に「その他の注意事項」または「その他の技術情報」が記載されていることがありますので、合わせてご覧ください。

また、各アプリケーションのマニュアルやヘルプも合わせてご覧ください。



本書の表記について


● 機種名について

機種名を次のように表記しています。

機種名	本書での表記
FMV-DESKPOWER CIX40L/CIX40Lc/CIX407c/ CIX35L/CIX357/CIX355	Cシリーズ
FMV-DESKPOWER SIX407/SIX407c/SIX405c	Sシリーズ
FMV-DESKPOWER MIX36L/MIX367/MIX365	Mシリーズ
FMV-DESKPOWER TIX507	TIX507
FMV-DESKPOWER Pliche model 936T/model 936X	プリシェ936T/プリシェ936X
FMV-BIBLO NEIX26X/NEIX26	NEIX26X/NEIX26
FMV-BIBLO NRIX30L/NRIX26X	NRIX30L/NRIX26X
FMV-BIBLO NSIX26X	NSIX26X
FMV-BIBLO MFIX26	MFIX26

● 記号について

…ご覧になっていただきたいマニュアルを表しています。の中に番号がある場合は、マニュアルの表紙の番号を示しています。

…CD-ROMを表しています。

● 製品の呼びかたについて

製品名称を次のように略して表記しています。


製品名称	本書での表記
FMV-DESKPOWER	DESKPOWER
FMV-BIBLO	BIBLO
FMV-DESKPOWER Pliche	プリシェ
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95
Microsoft® Windows® operating system Version3.1	Windows3.1
Microsoft® WindowsNT® Workstation Operating System Version4.0	WindowsNT 4.0
Microsoft® Word98 for Windows®	Word98
Microsoft® Excel97 for Windows®	Excel97
Microsoft® Outlook™98 for Windows®	Outlook98
Microsoft® Draw98 for Windows®	Draw98
Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic	Bookshelf Basic
Microsoft® NetMeeting™ Version2.1	Microsoft NetMeeting
Microsoft® IME 98	MS-IME98
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer
Microsoft® Outlook™ Express	Outlook Express
Microsoft® FrontPage Express™	FrontPage Express
一太郎9パック	一太郎9

製品名称	本書での表記
ATOK12	ATOK
OAK V6.0	OAK
インフォメーション・マネージャ FullBand 1.2u	FullBand
Lotus 1-2-3 98	1-2-3 98
ロータス ノーツ パーソナル	ノーツ パーソナル
翻訳サーフィン V4.0	翻訳サーフィン
NIFTY MANAGER for Windows Version 4.70	ニフティマネジャー
ニフティサーブでインターネットfor Windows	はじめよう！ニフティサーブ
はじめよう！インターネット(InfoWeb)(無料体験付)	はじめよう！インターネット(InfoWeb)
辞書&検索ソフトシリーズ スーパー統合辞書98V 広辞苑・新英和和英中辞典・漢字源・現代用語の基礎知識98	スーパー統合辞書98V
ゼンリン電子地図帳Z[zi.] for FUJITSU	ゼンリン電子地図
SoftPEG™	SoftPEG
バーチャル・サウンド・キャンパス VSC-88	VSC-88
Intellisync® for Notebooks	Intellisync
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
柿木将棋 II for Windows® 95	柿木将棋 II
SANRIO TINY PARK VOL.4	SANRIO TINY PARK4
AutoCom for Windows V2.1	AutoCom
ロボワード Ver3.0 for Windows95/98	ロボワード
TEO-もうひとつの地球-フィンフィン アミルの森とツブの林99春ブリシェバージョン	TEO
Keyboard Master完全版	キーボードマスター
おまかせ記文 V2	おまかせ記文
筆ぐるめVersion6.0 for Windows®	筆ぐるめ
筆まめVer.8富士通版	筆まめ
Adaptec Easy CD Creator ライト 3.01J	EasyCD
Adaptec DirectCD Version 1.01cJ	DirectCD
PersonalIntelligenceManager	PIM
AOL3.0i for Windows95/98	AOL
栗原はるみのすてきレシピ	すてきレシピ


目次

第1章 必ずお読みください

● 全機種情報

1. マニュアルの読み替えについて	1
2. CD-ROM の取り扱いについて	1
3.  「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ	1
4. デスクトップの「ネットワークコンピュータ」アイコンについて	1
5. アプリケーション起動時のエラーについて	1
6. Windows98 を終了するときの注意	1
7. Windows98 の強制終了について	1
8. Windows98 の CD-ROM について	2
9. Windows キー () を押したときの動作について	2
10. Windows98 の 2000 年対応について	2
11. MS-DOS のアプリケーションをお使いの場合	2
12. 省電力機能について	2
13. Windows98 起動直後の注意	2
14. フロッピーディスクのフォーマットについて	2
15. スクリーンセーバーについて	3
16. USB キーボードをお使いの方へ	3
17. エクスプローラについて	3
18. オブジェクトの挿入について	4
19. 「アクセサリ」のペイントについて	4
20. スピーカーフォン機能について	4
21. Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合	4
22. Word98、Excel97 について (Word モデルのみ)	5
23. Microsoft® Photo Editor について (Word モデルのみ)	5
24. 「JUSTSYSTEM インターネットツール」の「ダイヤルアップ」について (一太郎モデルのみ)	5
25. OASYS について (OASYS モデルのみ)	5
26. VirusScan について	6
27. 翻訳サーフィンについて	6
28. 留守番電話について	6
29. アプリケーション「電話機能」について	6
30. Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて	6
31. 「FM かんたんバックアップ」について	6
32. 「タッチおじさんメール」について	7
33. 画面の解像度や色数の変更について	7

● 機種別情報

1. 添付の  「デバイスドライバCD」について DESKPOWER のみ	7
2. セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用する場合 BIBLO のみ	7
3. 省電力モードからの復帰について MIX367/MIX365 のみ	7
4. マウスの抜き差しについて MIX367/MIX365 のみ	7
5. マウスのスクロールボタンについて DESKPOWER のみ	7
プリシェ 936T のみ	8
6. USB キーボードについて CIX40L/CIX40Lc/CIX35L/MIX36L/TIX507 のみ	8

7.画面の乱れについて	
プリシェ/BIBLOのみ	8
8.スクリーンセーバーについて	
Sシリーズのみ	8
BIBLOのみ	8
9.PCカードの取り扱いについて	
BIBLOのみ	8
10.スピーカーフォン機能について	
Cシリーズ/Mシリーズのみ	9
11.Microsoft NetMeeting について	
TIX507のみ	9
BIBLOのみ	9
12.OASYS 文書フロッピーについて	
Mシリーズのみ	9
13.Direct X 対応のソフトをご利用になる場合	
Sシリーズ/TIX507のみ	9
14.CD-ROM をセットするときの注意	
BIBLOのみ	9
15.Intellisync について	
プリシェのみ	9
16.サウンドドライバのインストール(アップデート)について	
NRIX30L/NRIX26Xのみ	9
17.グラフィックアクセラレータカード(3D 専用)について	
TIX507のみ	9
18.画面の解像度や色数の変更について	
TIX507のみ	10
19. 本体のマウスコネクタについて	
TIX507のみ	10

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

1.キーボードの種類について	11
2.画面の表示色について	11
3.画面の解像度や色数の変更について	11
4.ディスプレイ・画面表示に異常がある場合	11
5.画面の表示位置調整について	11
6.画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合	12
7.省電力機能について	12
8.USB キーボードをお使いの方へ	12
9.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合	13
10.ターミナルアダプタなどの通信系周辺機器について	13
11.「ダイヤルアップ接続」ウィンドウについて	14
12.通信などでパソコンから電話をかける場合について	14
13.Safe モードについて	14
14.デスクトップの壁紙について	14
15.タイトルバーのグラデーションについて	14
16.タスクバーに「msime98mode」というボタンが表示される場合	14
17.日本語入力システムについて	15
18.コントロールパネルについて	15
19.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について	15
20.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について	15
21.デフラグやスキャンディスクの実行について	15
22.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について	15
23.「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」について	15

24.「アクセサリ」の「ペイント」について	16
25.「アクセサリ」の「拡大鏡」について	16
26.「アクセサリ」の「外字エディタ」について	16
27.「アクセサリ」の「ActiveMovie コントロール」について	16
28.「アクセサリ」の「システム情報」について	16
29.「アクセサリ」の「システム情報」の「システムファイルチェッカー」について	16
30.データファイルから直接アプリケーションを起動するときの注意	17
31.アプリケーションのヘルプについて	17
32.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて (一太郎/OASYS モデルのみ)	17
33.印刷プレビューについて	17
34.ワンタッチショッピングソフトについて	17
35.フロッピーディスクのフォーマットについて	17
36.MPEG ファイルの再生について	17
37.Microsoft NetMeeting について	18
38.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について	18
39.Outlook Express について	18
40.Outlook98 について (Word モデルのみ)	18
41.一太郎 9 パックについて (一太郎モデルのみ)	18
42.ATOK について (一太郎モデルのみ)	19
43.1-2-3 98 について (一太郎/OASYS モデルのみ)	19
44.ノーツ パーソナルについて (一太郎/OASYS モデルのみ)	19
45.アプローチ 98 について (一太郎/OASYS モデルのみ)	20
46.「Word98 Excel97 の虎の巻」/「一太郎 9&1-2-3 98 の虎の巻」について	20
47.OASYS について (OASYS モデルのみ)	21
48.OASYS に付属の CD View について (OASYS モデルのみ)	21
49.ニフティマネージャーについて	21
50.VSC-88 について	21
51.通信ジュークプレーヤー、Music Box、DoReMiX について	22
52.通信ジュークプレーヤーと CD Vision について	22
53.留守番電話について	22
54.PIM と ZAURUS の連携について	22
55.AUV について	23
56.別売モデムをお使いになる方へ	23
57.RealPlayer について	23
58.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について	23
59.音楽 CD について	24
60.FMV サービスチャンネルについて	24
61.FM WORLD パソコン便利帳の誤記について	24
62.はじめよう！インターネット(InfoWeb)について	24
63.ポケベルコール機能について	24
64.AOL について	24
65.文字が正しく表示されない場合	24
66.FMV 簡単登録について	25
67.CPU 名の表示について	25
68.FM Advisor の CPU 情報について	25
69.USB 機器の増設について	25

● 機種別情報

1.画面の解像度や色数の変更について	
プリシェのみ	25
BIBLOのみ	25
2.ディスプレイの交換について	
DESKPOWERのみ	25
3.ディスプレイドライバについて	
Sシリーズ/TIX507のみ	25

4.ディスプレイアダプタの「Super VGA」の使用制限について	
Sシリーズ/TIX507のみ	26
5.「コントロールパネル」の「画面」について	
Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズ/プリシェのみ	26
6.CD-ROM読み込み中の省電力機能について	
BIBLOのみ	26
7.増設した拡張カードのMS-DOS版ユーティリティを使う場合	
DESKPOWERのみ	26
8.複数のオーディオソースを録音するとき	
DESKPOWERのみ	26
9.USBキーボードをお使いの方へ	
CIX40L/CIX40Lc/CIX35Lのみ	27
CIX40L/CIX40Lc/CIX35L/MIX36L/TIX507のみ	27
Sシリーズのみ	27
TIX507のみ	27
10.Direct3DのHAL(Hardware Abstraction Layer)の使用について	
Sシリーズのみ	27
TIX507のみ	27
11.WAVEファイルまたはMIDIファイルを再生したときのノイズについて	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェのみ	27
12.フロッピーディスクドライブのユニットまたはコンパクトベースの着脱について	
BIBLOのみ	28
13.PMset98について	
BIBLOのみ	28
14.音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ	
BIBLOのみ	28
15.CD-ROMドライブの自己振動と低回転モードの設定について	
NEIX26X/NEIX26/NSIX26Xのみ	28
16.携帯電話を使って通信する場合	
BIBLOのみ	29
17.CD Visionについて	
プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NSIX26X/MFIX26のみ	29
18.赤外線通信について	
プリシェ/BIBLOのみ	29
19.電話の音声について	
Sシリーズ/プリシェのみ	29
20.留守番電話について	
Sシリーズ/TIX507/プリシェのみ	30
Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズのみ	30
BIBLOのみ	30
NRIX30L/NRIX26Xのみ	30
MFIX26のみ	30
21.留守番電話を使用する場合の音量調節について	
BIBLOのみ	30
22.留守番電話やFAXを使って自動受信を行う場合	
BIBLOのみ	30
23.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの場合	
BIBLOのみ	31
24.マイクとスピーカーを使った通話機能について	
Sシリーズ/TIX507/プリシェ/BIBLOのみ	31
25.マルチモニタについて	
Cシリーズ/Mシリーズのみ	31
TIX507のみ	31
26.PCカードをお使いの方へ	
BIBLOのみ	31

27.PCMCIA カードについて	
BIBLOのみ	32
28.デバイスの削除/ドライバの更新について	
BIBLOのみ	32
29.IDE の DMA 転送について	
M シリーズ/プリシェのみ	32
30.MS-DOS の US モードにおけるフルスクリーン・モードへの切り替えについて	
Sシリーズのみ	32
31.電源投入直後および再起動時のキーボード入力について	
Mシリーズのみ	32
32.ATI タスクバーアイコンについて	
プリシェ/NRIX30L/NRIX26Xのみ	32
NRIX30L/NRIX26Xのみ	32
33.Logitech マウスウェアについて	
NRIX30L/NRIX26X/NSIX26X/MFIX26のみ	33
34.「アクセサリ」の「ActiveMovie コントロール」について	
NSIX26Xのみ	33
35.Word98、Excel97 について (Word モデルのみ)	
プリシェのみ	33
36.VSC-88 について	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/BIBLOのみ	33
Mシリーズのみ	33
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェのみ	33
BIBLOのみ	33
TIX507のみ	34
37.筆ぐるめについて	
Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズ/TIX507/BIBLOのみ	34
38.筆まめについて	
プリシェのみ	34
39.筆ぐるめの住所録データを PIM に読み込むときの注意	
Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズ/TIX507/BIBLOのみ	34
40.筆まめの住所録データを PIM に読み込むときの注意	
プリシェのみ	35
41.ささと家計簿について	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ	35
42.SANRIO TINY PARK4 について	
Cシリーズ/Sシリーズ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ	35
43.SANRIO TINY PARK4 およびサンリオアクセサリについて	
Cシリーズ/Sシリーズ/NRIX30L/NEIX26X/NRIX26Xのみ	35
44.サンリオアクセサリについて	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NEIX26X/NRIX26Xのみ	36
45.ロボワードについて	
プリシェのみ	36
46.らくらく写真館について	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ	36
47.「らくらく写真館」と「アクセサリ」の「拡大鏡」を同時にお使いになる場合の注意	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ	37
48.おまかせ記文について (一太郎モデル)	
プリシェのみ	37
49.キーボードマスターについて	
プリシェのみ	37
50.ゼンリン電子地図について	
Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ	37
51.Gamepack2000 について	
Cシリーズ/Sシリーズ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ	37

52.お父さんのための釣りについて	
Cシリーズ/Sシリーズのみ	38
53.Intellisync について	
プリシェ/BIBLOのみ	38
BIBLOのみ	38
54.TEO について	
プリシェ 936Tのみ	39
55.「AMC 周辺機器が見つかりません。…」というメッセージが表示される場合	
NRIX30L/NRIX26Xのみ	39
56.MFIX26 のVGA 機能について	39
57.MFIX26 のサウンド機能について	40
58.「CD ボタンハンドラ」について (Windows 動作時のマルチバイヤダブタの音楽 CD 再生用ボタン操作について)	
MFIX26のみ	41
59.本体電源がOFFの状態、マルチバイヤダブタをCDプレイヤーとしてお使いになるとき	
MFIX26のみ	41
60.マウスポインタの機能について	
TIX507のみ	41
61.FMV-123(ISA-SCSIカード)使用時のエラーメッセージについて	
TIX507のみ	41
62.「アクセサリ」の「イメージング」のご使用について	
TIX507のみ	41
63.オプションカードを増設した場合のMS-DOSご使用上の注意	
TIX507のみ	41
64.省電力機能について	
TIX507のみ	42
65.キーボードのパスワードのロックについて	
TIX507のみ	42
66.リモート電源投入機能について	
TIX507のみ	42

第 1 章 必ずお読みください

● 全機種情報

1. マニュアルの読み替えについて

- 添付の各アプリケーションのマニュアルやヘルプ、補足説明などが記載されたファイル (README など)、画面に表示されるメッセージなどで、「Windows95」の記述があった場合は、「Windows98」と読み替えてください。
- 本パソコンでは、クリック操作を「シングルクリック」に設定しています。添付のマニュアル・README ファイル・ヘルプなどで「ダブルクリック」と記載されているものは、「クリック」に読み替えてください。ただし、一部の操作では「クリック」ではなく、「ダブルクリック」で操作する必要があります。

2. CD-ROM の取り扱いについて

読み込み中は、CD-ROM を取り出さないでください。アプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。あわせて④『困ったときの Q&A』の「Q CD-ROM を取り出したら青い画面になった」もご覧ください。

3. 「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ

操作中まれに、「不正な処理」などのメッセージが表示される場合があります。この場合は、メッセージを閉じ、Windows98 を再起動してから、CD-ROM をセットし直してお使いください。

4. デスクトップの「ネットワークコンピュータ」アイコンについて

デスクトップの「ネットワークコンピュータ」アイコンは、本パソコンをネットワーク環境でお使いの場合に利用するアイコンです。本パソコンをネットワークに接続していない場合は、特に利用する必要はありません。

5. アプリケーション起動時のエラーについて

次のようなエラーが発生した場合は、そのまま使用せず Windows98 を再起動させてください。

- 多くのアプリケーションを同時に起動したとき、システムのメモリが不足して、「例外エラー」や「ページ違反」が発生する場合があります。
- アプリケーションを終了したあと、「スタート」ボタンをクリックし、「スタート」メニューからメニュー項目を選択しようとすると、ごくまれにエラーメッセージが表示される場合があります。

6. Windows98 を終了するときの注意

- アプリケーションのウィンドウを表示したまま Windows98 を終了または再起動すると、エラーメッセージが表示されるなど、Windows98 を正しく終了できない場合があります。また、Windows98 の終了または再起動中に、編集中のデータを保存するかどうかの確認メッセージが表示された場合、そこで保存するように指定しても正しく保存されない場合があります。Windows98 を終了または再起動する前に、必要なデータをすべて保存し、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
- アプリケーション (メモ帳やペイントなど) でファイルを新規に作成したあと Windows98 を終了するとき、作成したファイルが必要な場合は、必ずそのファイルを保存してから Windows98 を終了してください。ファイルを保存せずに Windows98 を終了しようとしたときにも、保存先やファイル名を指定するウィンドウが表示されますが、このとき日本語入力システムは使用できません。
- Windows98 を正常に再起動または終了できなくなった場合は、④『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。

7. Windows98 の強制終了について

Windows98 やアプリケーションの動作中に、**[Ctrl]**と**[Alt]**を押しながら**[Delete]**を押すと、アプリケーションなどが強制終了されます。このとき、作成中のデータが保存できなかったり、使用中のデータが壊れてしまったりする可能性があります。不必要に強制終了はしないでください。強制終了が必要な場合、および強制終了の操作方法については、④『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。

8.Windows98 の CD-ROM について

本製品には、Windows98 の CD-ROM は添付されていません。

ドライバのインストール時などに、Windows98 の CD-ROM をセットする旨のメッセージが表示された場合は、次のフォルダを参照させてください。

C:\¥Windows¥Options¥Cabs

9.Windows キー(☞)を押したときの動作について

- アプリケーションが起動しているときなどに、☞を押しても「スタート」メニューが表示されない場合があります。この場合は、マウスやフラットポイントを使って「スタート」ボタンをクリックしてください。
- アプリケーションを終了した直後や、メッセージなどが表示されたウィンドウを閉じた直後に☞を押すと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。

10.Windows98 の 2000 年対応について

インターネットにあるホームページ(FM WORLD)をご覧ください。

アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/support/fm2000/index.html>

11.MS-DOS のアプリケーションをお使いの場合

Windows 上で MS-DOS のアプリケーションをお使いになったあと、Windows のアイコンなどが崩れて表示される場合があります。この場合は、一度本パソコンを再起動させてお使いください。

12.省電力機能について

- **マルチメディア関連ファイル(MPEG/AVI ファイルなど)の再生について**
アプリケーションの動作が不安定になるため、次のようなときは省電力機能を働かせないでください。
 - Wave/MIDI などの音声/音楽関連ファイルを再生しているとき
 - AVI/MPEG/DAT などの動画ファイルを再生しているとき
 - 音楽 CD を再生しているとき
 - 音の出るアプリケーションをお使いのとき
- **通信をする場合**
通信中に、電源スイッチを押したりタイマー機能を使用するなどして、省電力機能を使用しないでください。通信が切断されたり、キーボードやマウスが使えなくなることがあります。
- **フロッピーディスクアクセス中の省電力機能について**
フロッピーディスクアクセス中に省電力機能が働かないようにしてください。正常に動作が完了しない場合があります。

13.Windows98 起動直後の注意

Windows98 を起動した直後に☞を押すと、パソコンが動かなくなる場合があります。この場合は、④『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。記載の手順に従ってください。

Windows98 の起動直後は、☞を押さないようにしてください。

14.フロッピーディスクのフォーマットについて

フォーマットされていないフロッピーディスクのフォーマット中は、「フォーマット」ウィンドウの「キャンセル」をクリックしないでください。「キャンセル」をクリックすると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、☞(Ctrl)と☞(Alt)を押しながら☞(Delete)を押して、Windows98 を再起動してください。

また、フォーマットに異常に時間がかかる場合(30分以上)や、フロッピーディスクが認識できないなどでフォーマットできない場合は、MS-DOS モードで再起動し、次のように入力して画面の指示に従ってフォーマットしてください。

Format A: (“A:”はドライブ名)


15.スクリーンセーバーについて

- スクリーンセーバーを表示しているときに、画面にカーソル表示が残る場合があります。
- 「画面のプロパティ」の「背景」タブで「壁紙」を「(なし)」に設定した状態で、「スクリーンセーバー」タブで「60 年代アメリカ」を設定すると、スクリーンセーバーが動作したときに、画面上のアイコンなどが消えてしまいます。スクリーンセーバーに「60 年代アメリカ」を設定する場合は、必ず何らかの壁紙を設定してください。
- 「OpenGL スクリーンセーバー」について
「OpenGL スクリーンセーバー」は、ご購入時はインストールされていません。このスクリーンセーバーをお使いになる場合は、「画面のプロパティ」で設定する前に、次の手順に従ってインストールしてください。
なお、OpenGL スクリーンセーバーに設定した場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
 3. 「ファイルの種類」の一覧から「アクセサリ」を選択し、「詳細」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウが表示されます。
 4. 「ファイルの種類」の一覧から「スクリーンセーバー」を選択し、「詳細」をクリックします。
「スクリーンセーバー」ウィンドウが表示されます。
 5. 「ファイルの種類」の一覧の「OpenGL スクリーンセーバー」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウに戻ります。
 6. 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウに戻ります。
 7. 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これでインストールは終了です。

このあと、「画面のプロパティ」から「OpenGL スクリーンセーバー」を設定します。設定方法については、[4](#)『困ったときの Q&A』の「Q スクリーンセーバーを設定したい」をご覧ください。

- 「3D 迷路」をお使いの方へ
「3D 迷路」使用中に省電力機能から復帰しないことがあります。スクリーンセーバーに「3D 迷路」を選択した場合、「設定」で「全画面表示にする」のチェックマークを外してご使用ください。

16.USB キーボードをお使いの方へ

- MS-DOS モードでお使いのときに、USB キーボードから一度に大量の文字を入力すると、まれにシステムが停止する場合があります。
- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブから任意のプロパティを開いた状態で省電力機能にすると、省電力機能から復帰したときにシステムが停止する場合があります。この場合は、[4](#)『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- **Ctrl**と**Alt**を押しながら**Delete**を押して強制終了する場合、「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されている状態で再度**Ctrl**と**Alt**を押しながら**Delete**を押すと、エラーメッセージが表示され強制終了できなくなります。強制終了できなくなった場合は、電源スイッチで電源を切ってください。また、「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されている状態で再起動する場合は、「シャットダウン」をクリックしてください。
- **Ctrl**と**Alt**を押しながら**Delete**を押して「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示したときに、強制終了せずにそのウィンドウを閉じる場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
「プログラムの強制終了」ウィンドウの右上の  (閉じるボタン) をクリックすると、パソコンが動かなくなります。この場合は、[4](#)『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。

17.エクスプローラについて

エクスプローラで CD-ROM ドライブの内容を表示したまま Windows 98 を再起動したとき、その再起動中に CD-ROM を取り出すと、再起動した直後にエクスプローラが反応しなくなる場合があります。この場合は、[4](#)『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。

18.オブジェクトの挿入について

ワープロソフトや表計算ソフトで、拡張子が「dat」の動画ファイルをオブジェクトとして挿入すると、エラーメッセージが表示され、ワープロソフトなどが終了する場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されませんので、前述のファイルをオブジェクトとして挿入するときは、あらかじめ作成中のデータを保存しておくことをお勧めします。

19.「アクセサリ」のペイントについて

Word98、一太郎 9 などで作成した文書に貼り付けられたオブジェクトを編集する場合には、呼び出されたペイントのパレットの色が正しく表示されません。オブジェクトの編集は、貼り付ける前に行ってください。

20.スピーカーフोन機能について

Windows98 の「アクセサリ」の「通信」の「ダイヤラ」では、スピーカーフोनは使用できません。電話機を使用してください。

21.Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合

ご購入時の状態、およびパソコンをふりだしに戻した状態では、Microsoft Backup（「アクセサリ」の「バックアップ」）を使用してテープデバイスへはバックアップできません。Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合は、次の手順で Microsoft Backup を再インストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、表示されたウィンドウの「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、「詳細」をクリックします。
「システムツール」ウィンドウが表示されます。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウで、「OK」をクリックします。
6. 画面に表示されるメッセージに従って、操作を進めます。
7. Microsoft Backup の削除が完了したら、手順 1.～手順 3.と同じように操作をします。
8. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
9. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウで、「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これで操作は終了です。

ただし、Microsoft Backup を再インストールすると、本体背面の平行コネクタにプラグアンドプレイ対応の機器（プリンタなど）を接続した場合に、次のような問題が発生する場合があります。

- 接続した機器がまったく認識されない
- 本パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- 接続した機器の動作が不安定になる


上記のような問題が発生する場合は、次の方法で回避できることがあります。

- Windows98 を起動したあとに、平行コネクタに接続した機器の電源を入れる
- ドライバのインストールがうまくいかない場合は、「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手段は一例です。詳しくは、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

22. Word98、Excel97 について

(Word モデルのみ)

- ファイルを開くときに(「ファイル」メニューの「開く」など)、ファイルの検索先として CD-ROM ドライブを指定した場合、CD-ROM がセットされていないと、フロッピーディスクドライブが使用されていないといったメッセージが表示されます。この場合は、「キャンセル」をクリックするか、または、該当する CD-ROM をセットし、10 秒ほど待つてから「再試行」をクリックしてください。
- Word98、Excel97 をアンインストールするときに、要求された CD-ROM をセットせずに操作を続けると、本パソコンが動かなくなる場合があります。この場合は、『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。また、CD-ROM が要求されたときは、必ず指定の CD-ROM をセットし、10 秒ほど待つてから、操作を続けてください。
- **Word98 について**
Microsoft® Photo Editor に関連付けされた画像ファイル(.gif、.jpg、.pcd)をオブジェクトとして文書中に挿入し、その画像ファイルを編集しようとする、エラーメッセージが表示され、イメージが編集できない場合があります。この場合は、その文書を一度保存して閉じ、再度開くと編集できます。
- **Excel97 について**
 - Excel97 の形式のファイルを、Lotus 1-2-3 など他の形式に変換した場合、変換後のファイルを Excel97 で開くとエラーメッセージが表示され、そのファイルを開けなくなることがあります。他の形式に変換するときは、そのファイルのバックアップをとってから変換することをお勧めします。
 - Excel97 で、Visual Basic Editor を利用したワークシートを保存するときに、ファイルの種類を「Microsoft Excel97 および 5.0/95 ブック」にして保存すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、別の種類で保存してください。

23. Microsoft® Photo Editor について

(Word モデルのみ)

Microsoft® Photo Editor で、「効果」メニュー内の項目を実行したあとに「イメージ」メニューの「調整」を行うと、画像の一部にしか調整が適用されない場合があります。このような画像の場合には、次の手順に従って、効果、調整の適用を行ってください。

1. 「効果」メニューの項目(例: テクスチャ)を選びます。
次のようなメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。
「この効果を適用するには、イメージを 24 ビットの RGB カラーに変換する必要があります。変換しますか？」
2. 選択した効果の適用を行います。
3. 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックし、ファイルを保存します。
4. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックし、ファイルを閉じます。
5. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、手順 3. で保存したファイルを再度開きます。
6. 「イメージ」メニューの「調整」を行います。
調整が画像全体に適用されます。

24. 「JUSTSYSTEM インターネットツール」の「ダイヤルアップ」について

(一太郎モデルのみ)

接続先の設定を変更した場合は、Windows98 を再起動してください。
Windows98 を再起動せずに、変更後の接続先に接続しようとする、エラーメッセージが表示され接続できない場合があります。

25. OASYS について

(OASYS モデルのみ)

「デスクトップ」には、一太郎など他社の形式で文書を保存できません。

26. VirusScan について

- エマージェンシーディスクの作成には、MS-DOS プロンプトで次のように入力し初期化したフロッピーディスクをお使いください。
Format A: /S
- エマージェンシーディスクを実行したときに「古いウィルスデータファイルです！」というメッセージが表示される場合がありますが、動作には問題ありません。そのままお使いください。
- ウィルスのスキャン中は、別のアプリケーションをお使いになるなど、他の操作を行わないでください。他の操作を行うと、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。
- Outlook Express では「E-mail スキャン」をご利用になれません。詳しくは、VirusScan のヘルプをご覧ください。

27. 翻訳サーフィンについて

- 「コントロールパネル」の「ネットワーク」の「ユーザー情報」タブでは、「コンピュータ名」として半角の英数字をお使いください。半角の英数字以外をお使いになると、翻訳サーフィンを起動したときにブラウザの初期化に失敗する場合があります。
- インターネットのホームページにも詳しい情報が掲載されています。添付のマニュアルと合わせて、こちらもぜひご覧ください。次のアドレスからご覧になれます。
<http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/softinfo/product/oa/ATLAI/atlai.html>
- Internet Explorer を利用して Web サーバ翻訳をお使いの場合は、Web サーバ翻訳を起動および終了するときに、「キーボードに触れないで下さい」のメッセージが表示されます。
Web サーバ翻訳を起動したまま Windows98 を終了したときは、このメッセージが表示されない場合がありますが、動作には問題ありません。あらかじめご了承ください。

28. 留守番電話について

留守番電話を留守状態にしているとき、他の通信アプリケーションで通信を行うと、留守番電話または他の通信アプリケーションが正しく動作しない場合があります。留守番電話を留守状態にしたときは、他の通信アプリケーションを動作させないでください。

29. アプリケーション「電話機能」について

「FUJITSU FAX Print Driver」は、「電話機能」をアンインストールすると利用できなくなります。

30. Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて

Direct 3D または Direct Draw に対応したゲームなどをインストールするとき、ゲームソフトなどに添付されている Direct 3D または Direct Draw (以降 Direct X と略記します) ドライバをインストールすると、Windows98 を正常に起動できない場合があります。

● インストール時の注意事項

Direct X に対応したゲームなどをインストールするとき、①「現在のディスプレイドライバを Direct X ドライバに置き換えますか？」のメッセージが表示される場合と、②メッセージは表示されずに無条件に Direct X ドライバがインストールされる場合があります。①の場合は、メッセージに対して「置き換えない」を選択してください。②の場合は、本パソコンにすでにインストールされている Direct X ドライバと、ゲームソフトなどに添付されている Direct X ドライバのバージョンが異なると、画面が真っ暗になります。その場合は、ディスプレイドライバをインストールし直してください。インストール方法については、⑤『FMV 本体&オプションガイド』の「ディスプレイドライバをインストールする」をご覧ください(MF IX26 をお使いの方は、⑥『ドライバアップデートガイド』をご覧ください)。

31. 「FM かんたんバックアップ」について

- FMかんたんバックアップのバックアップや復元処理中に、タブの切り替えをしないでください。
- 複数のユーザを設定してお使いのときに、「FM かんたんバックアップ」で「複数ユーザ登録時データ」を復元する場合は、いったんログオフし、ユーザ名の選択時に「キャンセル」をクリックしてログオンし直したあと行ってください。そのまま復元を行うと、「index をコピーできません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして復元処理を終了させたあと、前述のようにログオンし直して再度復元を行ってください。

32.「タッチおじさんメール」について

メール受信後、「受信箱」を開けない場合があります。この場合は、次のホームページから最新プログラムをダウンロードして、レベルアップしてください。

<http://ojisan.infoweb.ne.jp/>

レベルアップせずに上記の現象が発生した場合は、上記のホームページに対処方法も掲載しております。最新プログラムのダウンロードと合わせてそちらをご覧ください。

33.画面の解像度や色数の変更について

画面の解像度や色数を変更する場合は、必ずアプリケーションを終了してから行ってください。

また、変更後に再起動の要求があった場合は、必ず Windows98 を再起動してください。再起動せずにお使いになると、パソコンの動作が不安定になる場合があります。

なお、解像度や色数の変更時の再起動については、「第2章 必要に応じてお読みください 全機種情報」の「3.画面の解像度や色数の変更について」にも注意して頂きたいことが記載されています。合わせてご覧ください。

● 機種別情報

1.添付の「デバイスドライバCD」について

DESKPOWER のみ

本パソコンには「デバイスドライバCD」が添付されております。

使用に際しては必ず「デバイスドライバCD」の中の Readme.txt をお読みください。

また、本パソコンに標準インストールのデバイスドライバの制限事項なども記載されていますので、必ずお読みください。

2.セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用する場合

BIBLO のみ

セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用しているときに省電力機能が働くと、省電力機能から復帰したときに CD-ROM が二重に起動してしまい、誤動作の原因となります。二重に起動してしまった場合は、CD-ROM のアプリケーションを一度すべて終了し、CD-ROM をセットし直してください。

3.省電力モードからの復帰について

MIX367/MIX365 のみ

本機種ではマウスを操作しながら省電力機能を使用しないでください。マウスを動かしながら電源スイッチを押して省電力機能を使用した場合などは、正常に動作しない場合があります。

また、省電力機能から復帰させるには、電源スイッチを1回押すか、「Enter」キーなどのキーを押してください。マウスを動かしても省電力機能からは復帰しませんので、マウスは操作しないでください。

4.マウスの抜き差しについて


MIX367/MIX365 のみ

マウスの抜き差しを行う場合は、本パソコンの電源を切り、パソコン本体の電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。電源ケーブルをコンセントに接続したままマウスの抜き差しを行うと、本パソコンまたはマウスが壊れる場合があります。

5.マウスのスクロールボタンについて

DESKPOWER のみ

スクロールボタンの使い方は、アプリケーションによって異なります。また、アプリケーションによっては、スクロールボタンをお使いになれない場合があります。あらかじめご了承ください。

なお、スクロールボタンの基本的な使い方については、『困ったときの Q&A』の「Q マウスについている真ん中のボタンは何?」をご覧ください。

プリシェ 936T のみ

本機種では、アプリケーションによらず、スクロールボタンをスライドさせてもウィンドウの中の表示がスクロールしません。この問題は、仮想マウスドライバ「vmouse」に対しマウスドライバとタッチパネルドライバの通信する順序で発生します。以下の手順を行うことで通信順序が正常になり、問題を回避できます。

(この回避方法は、ACPI モードには対応していません。ACPI モードでは実行しないでください。)

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「マウス」の左の「+」をクリックします。
3. 「PS/2 マウス互換マウスポート」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「PS/2 マウス互換マウスポートのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。
5. 「次へ」をクリックし、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックします。
6. 「次へ」をクリックし、「すべてのハードウェアを表示」をクリックします。
7. 「製造元:」の「(標準マウス)」をクリックし、「モデル:」の「標準 PS/2 ポートマウス」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。
8. 「次へ」をクリックし、「完了」をクリックします。
9. Windows98 を再起動します。

これでスクロールボタンをスライドさせてウィンドウの中の表示をスクロールできます。

6.USB キーボードについて

CIX40L/CIX40Lc/CIX35L/MIX36L/TIX507 のみ

- ご購入時、「PS/2 互換マウスポート」について次のように表示されますが、お使いになるうえではまったく問題ありません。そのままお使いください。
 - 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブにある「PS/2 互換マウスポート」の項目に「！」マークが表示されます。
 - 「アクセサリ」の「システム情報」で、「問題のあるデバイス」として「PS/2 互換マウスポート」が表示されます。
- 省電力機能が働いている際に、USB キーボードや USB キーボードに接続したマウスでは、省電力機能から復帰できない場合があります。この場合は、電源スイッチを1回押して、省電力機能から復帰させてください。

7.画面の乱れについて

プリシェ/BIBLO のみ

省電力機能から復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

8.スクリーンセーバーについて

Sシリーズのみ

フルスクリーンで動作するアプリケーションを実行するときは、スクリーンセーバーの設定を解除しておくことをお勧めします。スクリーンセーバーを設定していると、スクリーンセーバーから正常に復帰できない場合があります。

BIBLO のみ

省電力機能を設定しているときに、スクリーンセーバーが起動したあと、まれに省電力機能が働かない場合があります。この場合はどちらかの設定を解除してください。

9.PCカードの取り扱いについて

BIBLO のみ

Windows98 を使用中に PC カードを取り外したい場合は、必ず次の手順で行ってください。

1. 画面右下のタスクバーにあるPCカードアイコンをクリックします。
「×××の中止」が表示されます(×××はお使いのPCカードにより表示が異なります)。
2. 「×××の中止」にカーソルを合わせ、クリックします。

3. 「このデバイスは安全に取りはずせませ」と表示されたら、「OK」をクリックします。

PC カードを取り外してください。

タスクバーにあるPCカードアイコンをダブルクリックしたり、コントロールパネルでPCカードアイコンをクリックして表示される「PC カード(PCMCIA)のプロパティ」から「停止」をクリックしての取り出しは行わないでください。システムが不安定になる場合があります。

10.スピーカーフォン機能について

Cシリーズ/Mシリーズのみ

内蔵モデムではスピーカーフォン機能はお使いになれません。あらかじめご了承ください。

11.Microsoft NetMeeting について

TX507 のみ

Windows98 で Microsoft NetMeeting を使いアプリケーションを共有すると、システムが不安定になる場合がありますので、Microsoft NetMeeting のアプリケーションの共有はお使いにならないでください。また、これによりシステムが不安定になった場合は、Windows98 を再起動してください。

BIBLO のみ

オーディオ機能は動作しません。Microsoft NetMeeting のマイク、スピーカのチェックマークを外してお使いください。

12.OASYS 文書フロッピーについて

Mシリーズのみ

本パソコンは 2DD タイプの OASYS 文書フロッピーのみをサポートしています。

13.Direct X 対応のソフトをご利用になる場合

Sシリーズ/TX507 のみ

本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは Direct X6 対応であり、Direct X1、X2、X3、X5 のランタイムはインストールすることができません。必ず Direct X6 のランタイムをお使いください。

14.CD-ROM をセットするときの注意

BIBLO のみ

CD-ROM ドライブのトレイ中央の突起に CD-ROM の穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。きちんとはめ込まないと、CD-ROM などの媒体が CD-ROM ドライブ内部で外れ、トレイやドライブ内部および CD-ROM を破損する原因となる場合があります。

15.Intellisync について

プリシェのみ

ご購入時の状態(赤外線通信ポートをお使いになれない状態)で Intellisync を起動すると、パソコンが動かなくなる場合があります。Intellisync は、必ず、赤外線通信ポートをお使いになれる状態にしてから起動してください。

なお、パソコンが動かなくなった場合は、④『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧になり、記載の手順に従ってください。また、赤外線通信ポートをお使いになれる状態にする方法については、⑤『FMV 本体&オプションガイド』の「赤外線通信ポートをお使いになるときは」をご覧ください。

16.サウンドドライバのインストール(アップデート)について

NRX30L/NRX26Xのみ

サウンドドライバのインストール(アップデート)終了後は、本パソコンを再起動してからお使いください。

17.グラフィックアクセラレータカード(3D 専用)について

TX507 のみ

3D 専用の 3D グラフィックアクセラレータカードによっては、IRQ のシェアリングに対応していない場合や、本パソコンに標準搭載のビデオチップ(グラフィックスカード)との組み合わせのため正常に動作しない場合があります。ご購入の際、またはお使いになる際は、メーカーにご確認ください。

18.画面の解像度や色数の変更について

TIX507のみ

- 640×480 60Hz は、次の制限があるため、お使いにならないでください。
 - マウスカーソルがアクセス位置に対して、少し左に表示されます。
 - カーソルを端に移動したとき、画面の反対側にごみのようなものが表示される場合があります。
- 画面の色数を変更したときは、必ず本パソコンを再起動してください。再起動せずにお使いになると、本パソコンの動作が不安定になる場合があります。

19. 本体のマウスコネクタについて

TIX507のみ

標準添付のマウスは、標準添付のUSBキーボードに接続してお使いください。本体のマウスコネクタに標準添付のマウスを接続すると、誤動作する場合があります。

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報


1. キーボードの種類について

本パソコンに添付されているキーボードは、「109 日本語キーボード」という種類です。しかし、「システムのプロパティ」ウィンドウでは「106 日本語キーボード」と表示されています。アプリケーションをインストールしたときに、キーボードの種類を選択する場合がありますが、この場合は「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選んでください。


2. 画面の表示色について

画面の表示色を変更すると(256色に変更したときは特に)、次のようになる場合があります。


- スクリーンセーバーから復帰したときに、背景の色が反転して表示される
- アプリケーションによっては、色が正しく表示されない
- アプリケーションによっては、ウィンドウを切り替えたときに異常な色で表示される

アプリケーションのマニュアルで特に色数を変更する指示がない場合は、ご購入時の色数をご使用ください(ご購入時の色数については、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください)。別途市販のアプリケーションをご購入したい場合は、各アプリケーションに記載されている動作環境をご確認のうえ、ご購入ください。

3. 画面の解像度や色数の変更について

- 画面の色数および解像度を変更したとき、デスクトップ上の FMV サービスチャンネルなどの位置がずれる場合や、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出す場合があります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、解像度を元の状態に戻してください。
- 「画面のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「画面」をクリックすると表示されます)で解像度や色数を変更したとき、Windows98の再起動が必要な場合は、「互換性の警告」ウィンドウで「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択し、「スタート」ボタンの「Windows の終了」から再起動することをお勧めします。「互換性の警告」ウィンドウから Windows98 を再起動したとき、まれにシステムが停止する場合があります。この場合は、『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。記載の手順に従ってください。
- 解像度を変更した直後に、日本語入力システムのツールバーを移動すると、移動する前の位置にツールバーが表示されたままになる場合があります。この場合は、デスクトップの何も表示されていないところ(アイコンやウィンドウなどが表示されていないところ)をクリックしてください。元の位置のツールバーが消えます。

4. ディスプレイ・画面表示に異常がある場合

ディスプレイや画面表示に異常がある場合は、次のことを確認してください。なお、『困ったときの Q&A』の「Q 画面が乱れる」もあわせてご覧ください。確認後も異常が見られる場合は、FM インフォメーションサービスまたはパーソナルエコーセンターへ連絡してください。

- **画面のちらつき／画面表示位置異常の場合**
「画面のプロパティ」の「設定」タブにある「詳細」の「モニタ」タブにおいて、パソコン本体に接続しているディスプレイ名が表示されていることを確認してください。「不明なモニタ」と表示されている場合は、ディスプレイコネクタおよびパソコン本体にディスプレイケーブルがきちんと接続されていることを確認し、本パソコンを再起動してください。自動的にディスプレイが認識され、最適な設定が適用されます。
- **画面ノイズ／画面同期乱れ／部分的な色異常の場合**
 - 近くにスピーカーやテレビ等の強い磁気を発生する機器が無いかどうか確認してください。磁気の影響を受けて画面表示が乱れる場合があります。磁気の影響が無くなるまで距離を離して設置してください。
 - 近くで携帯電話やトランシーバ等電波を発生する機器をお使いになると、画面表示が乱れる場合があります。本パソコンの近くで、これらの電波を発生する機器はお使いにならないでください。
 - 近くに AC アダプタが無いかどうか確認してください。AC アダプタの発する電氣的ノイズにより画面表示が乱れる場合があります。画面異常が無くなるまで距離を離して AC アダプタを設置してください。

5. 画面の表示位置調整について

画面の表示モードやディスプレイの種類によっては、画面が中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイ側で調整してください。

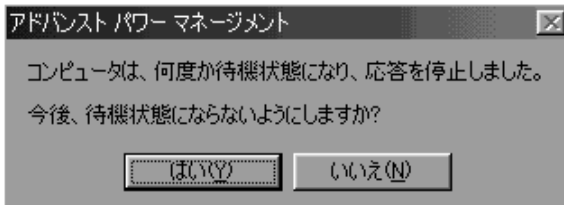
6.画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合

アプリケーションをお使いになっているときに、アイコン表示やウィンドウの一部などが画面に残ってしまう場合があります。この場合は、次の手順で、ウィンドウの再表示を行ってみてください。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

7.省電力機能について

- 省電力機能が働いている状態で、電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。



このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。

「はい」をクリックすると、以降省電力機能をお使いになれません。

なお、上記のメッセージで「はい」をクリックしてしまった場合は、次の手順で再設定すると、省電力機能を再びお使いになることができます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「接続別に表示」をクリックします。
3. 「アドバンスト パワー マネジメント サポート」をクリックし、「削除」をクリックします。
4. 「デバイス削除の確認」のメッセージで「OK」をクリックします。
5. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「いいえ」をクリックします。
6. 「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
7. 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をクリックします。
8. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウで画面の指示に従って「次へ」をクリックします。
※ 「インストールするデバイスは一覧にありますか？」のメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」をクリックします。
9. 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」のメッセージで「はい」をクリックし、画面の指示に従って「次へ」をクリックします。
ハードウェアの自動検出が始まります。
10. ハードウェアの検出が終わったら、「完了」をクリックします。
11. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで操作は終了です。

● 電源の管理について

動作環境によっては、電源制御が設定時間どおりに動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

● CRT ディスプレイをお使いの方へ

省電力機能から復帰するとき、一瞬アイコンが大きく表示されてすぐ元に戻る場合がありますが、故障ではありません。また、省電力機能から正常に復帰しない場合は、電源スイッチを押し、いったん省電力機能を働かせてから、再度電源スイッチを押しして復帰してください。

● LAN カードをお使いになる場合

LAN カードをご使用になる場合は、パワーマネジメントの設定を無効にしてお使いください。

8.USB キーボードをお使いの方へ

- 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を行うと、操作の途中で、インストールするデバイスの一覧に、「！」マークが付いた「PS/2 互換マウスポート」が表示されます。この表示は、お使いになるうえでまったく問題はありません。上記のデバイスは選択せずに操作を続けてください。

- 「コントロールパネル」の「ユーザー補助」内の「フィルタキー機能」の「設定」にて「ショートカットキーを使う」を有効とし、「右 Shift」キーを 8 秒以上押し続けてもショートカットが効きません。コントロールパネルから「フィルタキー機能」の設定メニューを開くようにしてください。

9. MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合

ご購入時はドライバが組み込まれていないため、MS-DOS モードで CD-ROM がお使いになれません。Windows98 を起動した状態にして、次の手順でドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
2. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。

```
c:\¥config.sys
```

3. 「開く」をクリックします。
4. **SIX407/SIX407c/SIX405c/MIX36L/MIX367/MIX365** をお使いの方は、次の 2 行の「REM」を削除します。

```
REM DEVICE=C:\¥REALMODE¥ATAPIMGR.SYS
REM DEVICE=C:\¥REALMODE¥SR_ASPI.SYS /D:OEMCD001
↓
DEVICE=C:\¥REALMODE¥ATAPIMGR.SYS
DEVICE=C:\¥REALMODE¥SR_ASPI.SYS /D:OEMCD001
```

上記以外の機種をお使いの方は、次の行の「REM」を削除します。

```
REM DEVICE=C:\¥REALMODE¥xxxATAPI.SYS /D:OEMCD001 (xxx は機種によって異なります)
↓
DEVICE=C:\¥REALMODE¥xxxATAPI.SYS /D:OEMCD001
```

5. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
6. 「はい」をクリックします。
7. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。

```
c:\¥windows¥dosstart.bat
```

8. 次の行の「REM」を削除します。
REM MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /I:× (×は機種によって異なります)
↓
MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /I:×

9. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
10. 「はい」をクリックします。
11. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
12. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
Windows98 が再起動され、設定が有効になります。
13. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
14. 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
MS-DOS モードで CD-ROM が使用可能になります。

10. ターミナルアダプタなどの通信系周辺機器について

ターミナルアダプタ(FMTA-102)などの通信系周辺機器については、Windows98をACPIモードに移行してお使いになる場合、性能が十分に発揮できないことがあります。APMモードのままお使いになることをお勧めします。

11.「ダイヤルアップ接続」ウィンドウについて

次のときに、「ダイヤルアップ接続」ウィンドウが、別のウィンドウに隠れてしまう場合があります。

- チャンネルバーを使って回線接続を行い、チャンネルバーの内容を表示しようとしたとき
- Outlook Express で、メール送信時に回線接続を行おうとしたとき

この場合は、**[Alt]**を押しながら**[Tab]**でタスクを切り替えて、「ダイヤルアップ接続」ウィンドウを一番上に表示させてお使いください。ダイヤルアップ接続のタスクは、Windows98 アイコンです。ただし、この状態の直後では表示されない場合がありますので、少し時間をあけてから、タスクを切り替えてください。

12.通信などでパソコンから電話をかける場合について

- お住まいの地域の局番が変更された場合は、ダイヤルのプロパティの設定を新しい市外局番に合わせて変更してください。

例:「0423-70-XXXX」から「042-370-XXXX」に変更された場合

変更方法は次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
- お住まいの市外局番と同じ市外局番の別地域に電話するときには、市外局番がダイヤルされないため電話がつながりません。この場合は、一時的にダイヤルのプロパティの市外局番の設定を、別の市外局番に設定してからお使いください。

設定方法は次のとおりです。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「テレフォニー」をクリックします。
3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。

例:042→044 など

※ 現在お使いの市外局番とは違う市外局番にしてください。

使用後は、必ず元の市外局番に戻してください。

13.Safe モードについて

Safe モード中に表示したウィンドウ（「コントロールパネル」ウィンドウなど）は、その後 Windows98 を再起動しても、ウィンドウ左側の説明（選択したアイコンの情報が表示される部分）が表示されなくなります。この場合は、そのウィンドウの「表示」メニューから「Web ページ」をクリックしてチェックマークをつけると、説明が表示されるようになります。

14.デスクトップの壁紙について

- アクティブデスクトップでは、画像データをデスクトップの壁紙にする機能（「らくらく写真館」など）が、正しくお使いになれない場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「Web」タブの「Active Desktop を Web ページとして表示」のチェックマークを外してください。
- 拡張子が「htm」のファイルを壁紙にしたとき、ファイルによっては正しく表示や操作ができない場合があります（フレーム表示を設定した.htm ファイルを壁紙に設定した場合など）。

15.タイトルバーのグラデーションについて

画面の設定後、再起動を行わないと、タイトルバーのグラデーション表示が単色になる場合があります。

この場合は、「画面のプロパティ」の「デザイン」タブにある「アクティブタイトルバー」の色の設定を、いったん他の色に設定し、そのあと元の色に設定し直してください。

16.タスクバーに「msime98mode」というボタンが表示される場合

まれに、「msime98mode」という名称のボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。なお、Windows98 を再起動すると、このボタンは消えます。

17.日本語入力システムについて

「MS-DOS プロンプト」を起動して日本語入力システムをオンにしたあと、**[Alt]**を押しながら**[Tab]**を押してアクティブウィンドウを切り替えたときに、「MS-DOS プロンプト」で日本語が入力できなくなる場合があります。この場合は、「MS-DOS プロンプト」を起動し直してください。

18.コントロールパネルについて

「コントロールパネル」ウィンドウでアイコンを選択したときに、ウィンドウの左側(選択したアイコンの情報が表示される部分)が正しく表示されない場合があります。この場合は、「第 2 章 必要に応じてお読みください 全機種情報」の「6. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合」をご覧ください。ウィンドウを再表示すると正しく表示されます。

19.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます)の「MIDI」タブにある、「単一の機器」の設定によっては、正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「単一の機器」の設定を変更してください。

20.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「日付と時刻」をクリックすると表示されます)で日付や時刻を変更したあと、「適用」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。「キャンセル」または **[X]**(閉じるボタン)で閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

21.デフラグやスキャンディスクの実行について

- Windows98 のスキャンディスクを実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。
「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」
この警告メッセージはアプリケーションや、Windows98 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表わすものではありません。
「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、または「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。
- デフラグやスキャンディスクを実行するときは、必ず AUV、VirusScan などの常駐アプリケーションをすべて終了させてから実行してください。AUV、VirusScan などの常駐アプリケーションが動作していると処理が途中で止まることがあります。

22.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について

「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」で表示されるメモリ容量は、実装されているメモリ容量より、若干小さく表示される場合があります。これはメモリの一部をハードウェアが使用しているためであり、誤表示ではありません。実装されているメモリ容量の正しい値は、BIOS セットアップで確認することができます。BIOS セットアップについては、**[5]**『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。

23.「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」について

- 「アクセサリ」の「サウンドレコーダー」を起動したとき、「サウンドレコーダーの設定が他のアプリケーションに変更されています。」というメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてサウンドレコーダーを続けてください。本メッセージが表示されても、サウンドレコーダーの使用上は何も問題はありません。
- MIDI 出力先に「Microsoft GS Wavetable SW Synth」を選択した状態でサウンドレコーダー録音を実行し、MIDI 項目の録音レベル調整と録音ミュートを操作する場合には、音量コントロールのウィンドウの MIDI 項目にて操作してください。MIDI 項目の録音レベル調整と録音ミュートはお使いになれません。
- サウンドレコーダーで録音する場合、録音時と比較するとやや音量が小さくなります。この場合には録音コントロールのウィンドウにて録音レベルを調整してください。調整方法は、**[4]**『困ったときの Q&A』の「マイクを使って音声を録音したい」をご覧ください。

24.「アクセサリ」の「ペイント」について

ペイントにビットマップを貼り付け、保存せずに終了すると、保存を確認するメッセージが表示されます。そのとき「はい」をクリックして保存すると、データの色数が 256 色のときにはビットマップの色が正常に保存されない場合があります。ペイントを終了するときは、「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」をクリックし、ビットマップを保存してから終了してください。

25.「アクセサリ」の「拡大鏡」について

「アクセサリ」の「ユーザー補助」の「拡大鏡」は、次の操作を行うときは終了してください。

- 起動時に画面の解像度が変わるアプリケーションをお使いになるとき
- Windows98 を終了するとき

拡大鏡を起動したまま上記の操作を行うと、拡大鏡や壁紙が正しく表示されなくなる場合があります。拡大鏡が正しく表示されないときは、拡大鏡を再起動してください。壁紙が正しく表示されないときは、Windows98 を再起動してください。

26.「アクセサリ」の「外字エディタ」について

「ツール」の「四角形選択」と「自由選択」をお使いの場合に、編集ウィンドウにごみのようなものが表示される場合があります。これは「外字エディタ」ウィンドウが再描画されるときに消えますので問題ありません。

27.「アクセサリ」の「ActiveMovie コントロール」について

「アクセサリ」の「ActiveMovie コントロール」で音を再生中に他のアプリケーションをお使いになると、そのアプリケーションで音が再生されない場合があります。この場合は、ActiveMovie コントロールを終了してから他のアプリケーションをお使いください。

28.「アクセサリ」の「システム情報」について

「アクセサリ」の「システムツール」の「システム情報」で、「ファイル」メニューの「エクスポート」を行うと、作成されたファイルの「ドライブの空き領域」の内容が、システム情報で表示される内容と異なります。表示されている内容が正しい情報ですので、そちらを参照してください。

29.「アクセサリ」の「システム情報」の「システムファイルチェッカー」について

「アクセサリ」の「システム情報」の「ツール」メニューにある「システムファイルチェッカー」で、「変更のあったファイル」をスキャンするを選択して実行すると、USER.EXE が壊れている可能性のある旨のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、ご購入直後、または、パソコンをふりだしにもどした直後の状態でも表示されますが、この場合はファイル自体に問題はありません。

このメッセージが表示された場合は、次のように操作を進めてください。

1. 「ファイルを復元する」を選択し、「OK」をクリックします。
「ファイルの復元」ウィンドウが表示されます。
2. 「復元元」の欄に次のように入力します。
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
3. 「ファイルの保存先」の欄に「C:¥WINDOWS¥SYSTEM」と表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。
「バックアップファイル」ウィンドウが表示されます。
4. バックアップファイルを作成する場合は、ファイルの保存先を指定して、「OK」をクリックします。
バックアップファイルを作成しない場合は、「スキップ」をクリックします。
※ バックアップファイルを作成する場合に、指定したフォルダが存在しないときは、その旨のメッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、新たにフォルダが作成され、処理が先へ進みます。
「いいえ」をクリックすると、「バックアップファイル」ウィンドウに戻ります。
5. スキャンが終了した旨のメッセージで「OK」をクリックします。
6. 再起動するかどうかを確認するメッセージで「はい」をクリックします。

Windows98 が再起動されます。

30. データファイルから直接アプリケーションを起動するときの注意

データファイルをクリックすると、関連付けされたアプリケーションが起動します。

ただし、関連付けが正しく設定されていない場合にはアプリケーションは起動せず、「ファイルを開くアプリケーションの選択」ウィンドウが表示されます。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

- 「ファイルを開くアプリケーションの選択」ウィンドウから、起動するアプリケーションを選択する。
※ このとき、「このファイルを開くときは、いつもこのアプリケーションを使う」のチェックマークをつけると、次回からは指定したアプリケーションが起動します。
- アプリケーションを起動したあと、ファイルを開く操作でデータファイルを指定する。

31. アプリケーションのヘルプについて

アプリケーションのヘルプをお使いのときに、選択した項目の説明が表示されず、次のようになる場合があります。

- 「このトピックは存在しません。」「○○○.hlp ファイルが見つかりません。」といったメッセージが表示される
- 何も説明が表示されない(反応がない)
- 意味不明の説明が表示される
など

このような場合でも、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのままお使いいただいてもかまいません。また、このような場合の詳しい対応については、各アプリケーションの開発メーカーにお問い合わせください(お問い合わせ先については、[4『困ったときの Q&A』](#)の巻末をご覧ください)。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち次のアプリケーションで、上記のようになることが確認されています。

- ちくちく写真館の StringPro (C シリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26X のみ)
- 筆まめ(プリシェのみ)
- ノーツ(一太郎/OASYS モデルのみ)
- Outlook98 (Word モデルのみ)
- 翻訳サーフィン

32. アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて

(一太郎/OASYS モデルのみ)

アプリケーションをインストールおよびアンインストールする際の注意事項は、[4『困ったときの Q&A』](#)の「アプリケーション」にも記載されています。合わせてご覧ください。

- 1-2-3 98 またはノーツのアンインストール時に、「バージョンが違います」と表示される場合がありますが、「続行」を選択することで、アンインストールを続けることができます。
- アプローチ 98 をインストールし直したあとは、モデムポートを「COM2」に設定してください。モデムポートの設定は、データを作成していない状態ではできません。詳しくは「ヘルプ」をご覧ください。

33. 印刷プレビューについて

アプリケーションに印刷プレビュー機能が用意されている場合、その機能での表示が、実際の印刷結果と多少異なる場合があります。この場合でも、印刷は正しく行われますのでご了承ください。

34. ワンタッチショッピングソフトについて

「プログラム」メニューにある「ワンタッチショッピングソフト」は、「通信ジュークプレーヤー」といっしょに利用するアプリケーションです。「ワンタッチショッピングソフト」だけを起動して利用することはできません。



35. フロッピーディスクのフォーマットについて

フォーマットされていないフロッピーディスクのフォーマットを Windows98 で行うと、Windows95 で同じ処理を行ったときよりも時間がかかります。あらかじめご了承ください。

36. MPEG ファイルの再生について

MPEG ファイルを重ねて再生しないでください。画像が乱れる場合があります。


37.Microsoft NetMeeting について

- 再生デバイスに「Roland VSC-88」を選択した場合は、Microsoft NetMeeting(「オーディオ調整ウィザード」など)で再生時の音量を調節できません。この場合は、スピーカ-の音量ボリューム、タスクバーのなどを使って音量を調節してください(詳しくは、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください)。また、再生デバイスに「Roland VSC-88」以外を選択すると、Microsoft NetMeeting で再生時の音量を調節できます。
- Microsoft NetMeeting をお使いの直後は、Microsoft NetMeeting 内のマイク感度の設定が最大になっています。入力した音声反響する場合は、Microsoft NetMeeting 内のマイク感度の設定を下げてください。

38.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について

Windows95 で用意されていた Microsoft Exchange および Microsoft Fax は、Windows98 には用意されていません。あらかじめご了承ください。

また、Microsoft Exchange などを利用する一部の機能は、お使いになれない場合があります。この場合は、次のようにするとご利用になれる場合があります。

1. あらかじめインターネットの設定を済ませておきます。
詳しくは、『はじめよう！インターネット』をご覧ください。
2. デスクトップの「Outlook Express」をクリックします。
3. 「ツール」メニューから「オプション」をクリックします。
4. 「全般」タブの「Outlook Express を標準の簡易 MAPI クライアントにする」をクリックしてチェックマークをつけます。
5. 「はい」をクリックします。
6. 「オプション」ウィンドウで「OK」をクリックします。
7. 再起動が必要な場合がある旨のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
8. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
9. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで設定は終了です。


39.Outlook Express について

「コントロールパネル」の「ユーザー」で、複数のユーザを設定すると、デスクトップに「Outlook Express」のアイコンが2つ表示されます。この場合は、どちらか一つ(どちらでもかまいません)を削除してください。

40.Outlook98 について

(Word モデルのみ)

Outlook98 をインストールし直したあと、「Outlook98 のインストール」の「コンポーネントの追加」から「Symantec WinFax Starter Edition」をインストールしたときは、引き続き次のように操作してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「検索」にマウスポインタを合わせ、「ファイルやフォルダ」をクリックします。
2. 「olfsetup.exe」を検索します。
検索方法については、『困ったときの Q&A』の「Q ファイルが見つからない」をご覧ください。
3. 検索された「olfsetup.exe」をクリックします。
セットアップウィザードが起動します。
4. ウィザードの手順に従って、セットアップします。
5. 手順 1.、2.と同じようにして、「olfmod32.exe」を検索し、「olfmod32.exe」をクリックします。
6. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
7. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで設定は終了です。

41.一太郎 9 パックについて

(一太郎モデルのみ)

- 一太郎 9 に、1-2-3 98 ワークブックをオブジェクトとして挿入したときに、まれに特定の文字が正しく表示されない場合があります。この場合は、フォントの種類やサイズ、セルの幅などを変更すると、正しく表示される場合があります。

- 次の現象について詳しくは、アプリケーションの開発メーカーにお問い合わせください(お問い合わせ先については、『困ったときの Q&A』の巻末をご覧ください)。
 - 一太郎 9 をお使いのときに、文書の保存先などを指定するウィンドウ(「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」で表示されるウィンドウなど)で新規にフォルダを作成し、そのフォルダの名前を変更しようとすると、新しいフォルダの名前を変更できない旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、「確認」をクリックしてください。引き続き操作を続けることができます。
 - 一太郎 9 をお使いのときに、「表示」メニューや「ツール」メニューの一部の機能のウィンドウが正しく表示されなくなる場合があります。この場合は、一太郎 9 を起動し直してください。

42. ATOK について

(一太郎モデルのみ)

マルチユーザ(複数のユーザで使用できる環境)の設定でお使いの場合は、「JUSTSYSTEM アプリケーションの追加と削除」では ATOK をアンインストールできません。この場合は、次の手順でアンインストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「キーボード」をクリックし、表示されたウィンドウの「言語」タブをクリックします。
3. 「ATOK」を選択し、「削除」をクリックします。
※ マルチユーザに設定されている対象者全員が、ここまでの作業を行う必要があります。
4. ATOK をフォルダごと削除します。
これで操作は終了です。

43.1-2-3 98 について

(一太郎/OASYS モデルのみ)

1-2-3 98 では、「ファイル」メニューの「インターネット」の「インターネットから開く」で、「WWW」を指定してファイルを開いた場合に、ファイルによっては日本語が正しく表示されない場合があります。

44. ノーツ パーソナルについて

(一太郎/OASYS モデルのみ)

次に示す「○○のアドレス帳」は、ノーツパーソナルを最初に起動した際に設定した名前です。

- 「インターネット接続情報」や「リモート LAN 接続サーバー情報」(インターネット接続アカウント、メールアドレス、メールアドレス、パスワード等)を修正したい場合は、次の手順で行ってください。特にここでの設定に誤りがあると、インターネットの接続やメールの送受信が正常に動作しませんので、ご注意ください。

1. 「インターネット接続」を開きます。
2. 画面左側の「ステータス」をクリックします。
3. 画面右側に表示された該当する文書を開きます。
4. 「文書の編集」ボタンをクリックし、修正します。
5. 「アドレス帳に反映」ボタンをクリックします。
6. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックします。
7. 「ファイル」メニューの「ノーツ/ドミノの終了」をクリックし、ノーツパーソナルを終了し、再起動してください。

- メールを送信しようとすると、「NoAddress Associated with Name」または「SMTP Protocol Returned Error」というエラーが表示される場合があります。

このようなエラーが表示される場合には、次の手順でインターネット接続情報と同じ名前のロケーションに設定されているか確認してください。

1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックします。
2. 「インターネット接続」データベースで作成した「インターネット接続情報」と同じ名前のロケーションをクリックします。

それでもうまくいかないときは、次の手順で「ロケーションタイプ」が「接続なし」以外に設定されていないか確認してください。

1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックし、「ロケーションの編集...」をクリックします。
2. 「ロケーションタイプ」を「接続なし」に変更します。
3. 「保存・終了」をクリックします。

- 定期的にダイヤルアップしてメールの送受信をする場合は、設定が必要です。設定の手順は次のとおりです。ただし、この機能を利用するにはノーツ パーソナルを起動させておく必要があります。
 1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックし、「ロケーションの編集...」をクリックします。
 2. 「複製情報」の「スケジュール:」の設定を「使用可」に変更します。
 3. 「呼び出し時間:」「再呼び出し間隔:」「曜日:」の設定を行います。
例 1 2 時間間隔でメールの送受信を行いたい → 再呼び出し間隔を「120」に設定
例 2 9 時、12 時、17 時にメールの送受信を行いたい → 呼び出し時間を「9:00, 12:00, 17:00」に設定
 4. 「保存・終了」をクリックします。
- インターネットに接続する際、「リモートサーバーのコール」ウィンドウで「オプション」をクリックすると、接続に必要なパスワードが表示されてしまいます。
このパスワードは、インターネットに接続する際に必要となる大事なパスワードです。
「リモートサーバーのコール」ウィンドウで「オプション」をクリックする際には、周囲に十分注意してください。
「リモートサーバーのコール」ウィンドウでパスワードを見せない設定はありませんので、パスワードを削除してご利用ください。パスワードを削除する手順は次のとおりです。ただし、ノーツパーソナルからメール送信などで接続するときは、毎回パスワードの入力が必要になります。
 1. 「〇〇のアドレス帳」を開きます。
 2. 画面左側の「詳細」の「接続」ビューをクリックします。
 3. 該当する接続文書を選択し、「接続編集」をクリックします。
 4. 「リモート LAN サービス設定編集」の左側の「▼」をクリックします。
 5. パスワードを削除し、「OK」をクリックします。
 6. 「保存・終了」をクリックします。
- 使用するブラウザの設定を「ノーツ」にして「個人 Web ナビゲーター」を利用すると、きちんと表示できないホームページがあります。
ノーツ パーソナルオリジナルのブラウザで正常に表示できないページをご覧いただくには、使用するブラウザを「ノーツ上で Microsoft Internet Explorer」に設定してください。設定の手順は次のとおりです。
 1. ステータスバーの右端から 2 番目のボタンをクリックし、「ロケーションの編集...」をクリックします。
 2. 「インターネットブラウザ」の設定を「ノーツ上で Microsoft Internet Explorer」に変更します。
 3. 「保存・終了」をクリックします。
- ノーツ パーソナルから使用するブラウザを「Microsoft Internet Explorer」に設定している場合、まだ Internet Explorer 自身の設定が完了していない状態でノーツ パーソナルからブラウジング動作をすると、エラーが発生し、ノーツ パーソナルが終了します。
Internet Explorer の設定を完了させてから使用してください。
- 新規スケジュール作成時に「繰り返し」機能を使用する場合は、同じスケジュールを設定する「開始日」、「終了日」または「期間」を必ず設定してください。
- データベースアイコンのサイズは変更できません。
- 本パソコンの内蔵モデムを使用して、ノーツ パーソナルをモデム経由で使用する場合は、モデムポートを「COM2」に設定してください。本パソコンの内蔵モデムのモデムポートは「COM2」に設定されています。

45. アプローチ 98 について

(一太郎/OASYS モデルのみ)

- スマートマスターの「会議室予約」をお使いのときに、存在しない日付(1 月 32 日など)を入力すると、エラーメッセージが表示される場合があります。
- スマートマスターの「ビデオライブラリ」をお使いのとき、「メインメニュー」ではボタンをクリックして操作を進めてください。文字の部分をクリックしても同様に操作できますが、エラーメッセージが表示される場合があります。

46. 「Word98 Excel97 の虎の巻」/「一太郎 9&1-2-3 98 の虎の巻」について

デモ画面を再生中に、マウスをクリックすると再生が中止される場合があります。この場合は、もう一度マウスをクリックすると再開されます。

47.OASYS について

(OASYS モデルのみ)

- OASYS Image をお使いのときに、編集したイメージを、元の形式とは違う形式で保存すると、ファイル名の拡張子が元の形式のまま保存される場合があります。この場合は、Windows98 の設定を次のように変更すると、正しく保存できます。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「フォルダオプション」をクリックします。
 2. 「表示」タブをクリックし、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」にチェックマークがついていないことを確認します。チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークを外します。
 3. 「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 長い名前のフォルダ(My Documents フォルダなど)に保存した、拡張子が「pcd」などのファイルを OASYS Image で開こうとすると、ファイルが正しくない旨のエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ファイルの保存先を変更してから開いてください。
- HTML 文書として保存する機能は、「挿入」メニューの「オブジェクト作成」で貼り付けた画像ファイルをサポートしておりません。詳しくは、次のファイルをご覧ください。
C:\Program Files\OASYS\6\BIN\OASYSIA.TXT
- 罫線モードで引いた線の色が、指定した色で表示されない場合があります。この場合は、「第 2 章 必要に応じてお読みください 全機種情報」の「6. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合」をご覧ください。OASYS ウィンドウを再表示すると、正しい色で表示されます。
- 「OASYS ワークプロ検定」は、「キーボードのプロパティ」の「規定の言語」を「OAK」に設定してからお使いください。「MS-IME98」に設定されていると、正しく動作しない場合があります。

48.OASYS に付属の CD View について

(OASYS モデルのみ)

OASYS に付属の CD View では、「スーパー統合辞書 98V」の「広辞苑第五版」を正しく再生することができません。この辞書をお使いになる場合は、「スーパー統合辞書 98V」に付属の CD View をご利用ください。

49.ニフティマネジャーについて

- ニフティマネジャーを起動して、利用できるようになるまでの間(ニフティマネジャーのバージョンやアイコンの絵が表示されている間)に、「NIFTY MANAGER」ウィンドウの (閉じるボタン)をクリックしないでください。クリックすると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウのボタンをクリックし、ニフティマネジャーを起動し直してください。
- ニフティマネジャーのサポートは、ニフティサーブのニフティマネジャーサポートコーナーで行われており、ここから最新版をダウンロードすることもできます。
ニフティマネジャーサポートコーナーに入るには「サービス」メニューの「NIFTY MANAGER サポートコーナー」をクリックします。

50.VSC-88 について


- 「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます)の「MIDI」タブの「単一の機器」が「Roland VSC-88」以外に設定されている場合は、VSC-88 の一部の機能をお使いになることができません。VSC-88 をお使いになるときは、前述の設定を「Roland VSC-88」に変更してください。
- タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う」に切り替えると、アプリケーションによっては正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「VSC-88 を使わない」に切り替えてアプリケーションをお使いください。
- 次のアプリケーションなどから VSC-88 をお使いになる場合は、次のように設定してください。
 - **通信ジュークプレーヤー**
「通信ジュークプレーヤー」のウィンドウ内で右クリックし、表示されたメニューの「MIDI 出力デバイス」から「Roland VSC-88」を選択します。
 - ***.mid ファイルをクリックして再生する場合**
「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます)の「MIDI」タブの「単一の機器」から「Roland VSC-88」を選択します。
または、VSC-88 ヘルパー・アイコンをクリックし、表示されたメニューから「VSC-88 を使う」を選択します。

- ***.mid ファイルをクリックして VSC-88 を起動する場合**
「エクスプローラ」の「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックし、表示されたウィンドウの「ファイルタイプ」タブで、*.mid ファイルのアプリケーションを VSC-88 (C:\Program Files\Roland\VSC-88\Vsc88.exe) に設定します。
 - ***.mid ファイルのアイコンを VSC-88 のアイコンにする場合**
前述と同じ「ファイルタイプ」タブで、アイコンのファイルを VSC-88 (C:\Program Files\Roland\VSC-88\Vsc88.exe) に設定します。
- なお、VSC-88 をお使いになった場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。詳しくは、VSC-88 のヘルプの「トラブルシューティング Q&A」をご覧ください。


51.通信ジュークプレーヤー、Music Box、DoReMiX について

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の「MIDI」タブの「単一の機器」に「Roland VSC-88」以外が選択されている場合は、通信ジュークプレーヤー、Music Box、DoReMiX の一部の機能をお使いになることができません。

これらのアプリケーションをお使いになるときは、前述の設定を「Roland VSC-88」に変更してください。

- **通信ジュークプレーヤーについて**
 - 通信ジュークプレーヤーで曲を演奏中に省電力機能が働くと、省電力機能から復帰できず、システムが停止する場合があります。この場合は、「困ったときの Q&A」の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。記載の手順に従ってください。
 - タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う (DirectSound)」に切り替えてお使いの際は、通信ジュークプレーヤーで曲を演奏したときに、音が途切れながら再生される場合があります。この場合は、「背景画像の表示」を「なし」にすると改善されることがあります。
 - **一太郎モデルのみ**
JustView を通常使うブラウザに設定している場合は、通信ジュークプレーヤーで曲をダウンロードできません。Internet Explorer を通常使うブラウザに設定し、Windows98 を再起動してから、曲をダウンロードしてください。

52.通信ジュークプレーヤーと CD Vision について

上記のアプリケーションを同時にお使いにならないでください。同時にお使いになると、パソコンが動かなくなる場合があります。動かなくなってしまった場合は、「困ったときの Q&A」の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。記載の手順に従って本パソコンを再起動してください。

53.留守番電話について

- FAX の受信がうまくいかない場合は、次の手順で設定を変更してください。
 1. 「留守番電話」の「機能」をクリックし、「留守番電話設定」をクリックします。
 2. 表示されたウィンドウの「ボイス設定」タブをクリックします。
 3. 「着信モード」が「FAX/電話」に設定されているか確認します。「FAX/電話」以外に設定されている場合は、「FAX/電話」に設定します。
 4. 「着信までの呼び出し回数」を「4 回」以下に設定し、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 「通話再生」「通話録音」機能について
 - **DESKPOWER の場合 (S シリーズ / TX507 / プリシェのみ)**
 - 受話器で通話しているときにのみお使いになれます。
 - 通話の音量レベルが下がります。
 - 通話再生中は、通常対話が聞こえにくくなります。
 - **BIBLO の場合**
 - 「通話再生」、「通話録音」機能はお使いになれません。

54.PIM と ZAURUS の連携について

PIM と ZAURUS を連携してお使いになる場合は、IR コマンド (別売品) が必要です。

詳しくは、添付の 「Personal Intelligence Manager」をご覧ください。

55.AUVについて

- ガードモード中に「スタート」ボタンから「ログオフ」をすると、タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンが消えてしまいます。この場合は、Windows98 を再起動してください。
- ガードモードから戻ると、デスクトップ上の「Internet Explorer」のアイコンの位置が変わる場合があります。元の位置に戻す場合は、アイコンをドラッグして移動してください。
なお、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのままお使いいただいてもかまいません。
- 「おしえてポスト」は、Outlook Express バージョン 4.xx.xxxx.x にのみ対応しています。
- 「おしえてポスト」のメール自動受信中に AUV を終了すると、メールを正しく受信できない場合があります。自動受信中は AUV を終了しないようにしてください。
- Outlook Express に複数のメールアカウントを設定している場合は、AUV の「おしえてポスト」では、Outlook Express の「ツール」メニューの「アカウント」をクリックすると表示される「インターネットアカウント」ウィンドウの「標準」のメールアカウントで受信を行います。この場合は、「おしえてポスト」の「ダイヤルアップ接続のパスワード」と「受信メールサーバーのパスワード」を、「標準」のメールアカウントのものに設定してください。
- 送信トレイに「標準」のアカウントを差出人にするメールがある場合は、「おしえてポスト」でメールを自動的に受信する際に、そのメールも送信されます。
- 「おこほうフロッピー」は、Windows98 を終了するときに、メディア（フロッピーディスクや CD-ROM、MO など）がセットされているかどうかをチェックします。
このときに、フォーマットされていないメディアや、OASYS 形式のフロッピーディスクがセットされていると、次の現象が起きる場合があります。
 - メディアがセットされていることのチェックに時間がかかる
 - メディアがセットされていることが正しく検出できない
この場合、Windows98 は自動的に終了します。
また、メディアは自動的に取り出されませんので、手操作で取り出してください。
- 「このプログラムからの応答がありません」ウィンドウが表示される
この場合は、以下の操作を行って Windows98 を終了してください。
 1. 手操作で、メディアを取り出します。
 2. AUV の「Windows98 の終了を中止します」ウィンドウが表示されているときは、「閉じる」をクリックします。
 3. 「このプログラムからの応答がありません」ウィンドウの「終了」をクリックします。
- 「おこほうフロッピー」で、「フロッピーディスクが入っていたら、Windows の終了を中止します」に設定している場合（ご購入時はこのように設定されています）、フロッピーディスクをセットしたまま、「Windows の終了」から「MS-DOS モードで再起動する」を選択すると、「MS-DOS プロンプト」ウィンドウが表示されますが、動作には問題ありません。「MS-DOS プロンプト」ウィンドウの「OK」をクリックすると、ウィンドウが閉じます。そのあと、AUV のメッセージに従って操作してください。
- 「スタート」メニューからのスタンバイや、電源スイッチ、SUS/RES スイッチで省電力機能が働かないとき、AUV の「ずーっと画面」が設定されている場合があります。AUV のお知らせウィンドウで確認してください。

56.別売モデムをお使いになる方へ

本パソコンでは、内蔵モデムをお使いになる場合の設定に合わせて、通信アプリケーションがインストールされています。モデムを新たに取り付けた場合は、接続形態に合わせて COM ポート番号などを再設定する必要があります。また、お使いのモデムによっては、あらかじめ設定されている状態で、正常に通信できない場合があります。この場合は、お使いのモデムに合わせて、通信アプリケーションの再設定を行ってください。設定方法については、各通信アプリケーションおよびモデムの取扱説明書をご覧ください。

57.RealPlayer について

本パソコンにインストールされている RealPlayer では、データによっては正しく再生できなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。

RealPlayer は、最新版をダウンロードしてお使いになることをお勧めします。

58.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について

インターネット上で RealAudio ファイルおよび ShockWave ファイルを再生するとき、音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

59.音楽 CD について

音楽CDは、「アクセサリ」の「メディアプレーヤー」などからは再生できません。「アクセサリ」の「CDプレーヤー」をお使いください。

60.FMV サービスチャンネルについて

- デスクトップに表示されている FMV サービスチャンネルなどを、デスクトップのアイコンや、MS-IME98 のツールバーと重なるように移動すると、それ以上移動できなくなる場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」を表示し（「コントロールパネル」の「画面」をクリックすると表示されます）、「Web」タブをクリックしたあと「OK」をクリックしてください。
- デスクトップに表示されている「FMV サービスチャンネル」の各ボタンをクリックすると表示される説明に、本パソコンには該当しない説明が一部含まれています。あらかじめご了承ください。

61.FM WORLD パソコン便利帳の誤記について

「パソコン技術用語解説」内の「IrDA」に次の誤りがあります。次のように読み替えてください。

(4)その他

(誤) TranXit3 (次版)より 4Mbps サポート予定。



(正) TranXit3/Intellisync for Notebooks では、4Mbps までサポート。

62.はじめよう！ インターネット(InfoWeb)について

- 添付の②『アプリケーション CD』から「はじめよう！ インターネット(InfoWeb)」をインストールしたあと、オンラインサインアップを行い InfoWeb に接続しようとする時、エラーメッセージが表示されて接続できない場合があります。

この場合は、③『はじめよう！ インターネット』の「すでに InfoWeb と契約している場合の設定」をご覧になり、「ダイヤルアップ設定」の「InfoWeb の初期設定をする」を行ってください。

- お使いになる前に、「地域のプロパティ」ウインドウ（「コントロールパネル」の「地域」をクリックすると表示されます）の「地域」タブが、「日本語」になっていることを確認してください（ご購入時は「日本語」に設定されています）。「日本語」以外の場合は、はじめよう！ インターネット(InfoWeb) 使用時にエラーメッセージが表示される場合があります。

63.ポケベルコール機能について

10 円メールマスターやポケベルダイヤラのポケベルコール機能をお使いになり、エラーが表示されたり、相手に送信できない場合は、次の原因が考えられます。

- 送信相手が受信エリア外にいる
- 送信相手のポケベルの電源が入っていない

64.AOL について

- AOL をお使いになる場合は、VirusScan の「インターネットフィルタープロパティ」の「Java と ActiveX フィルタを有効」のチェックマークを外してください（ご購入時は、チェックマークは外した状態に設定されています）。

このチェックマークをつけて AOL をお使いになると、アプリケーションが反応しなくなります。この場合は、④『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧になり、記載の手順に従ってください。

- ニフティマネジャーで、インターネット経由でメールを送信するときに、全角文字を含んだファイル名のファイルをメールに添付した場合、そのメールを AOL で受信すると、まれに添付ファイルを正しく受信できない場合があります。

65.文字が正しく表示されない場合

アプリケーションをお使いのときに、意味不明の文字が表示される（文字化けする）場合は、次のファイルを削除すると、正しく表示されることがあります。

C:\¥Windows¥fonts¥F5dyfksg.ttf

ファイルの削除方法については、①『かるがるパソコン入門』をご覧ください。

なお、ご購入時の状態では、次の文字化けのときに上記のファイルを削除すると、正しく表示されることが確認されています。


- Outlook Express のプレビューウィンドウのヒントの文字化け
- 「Windows98 へようこそ」ウィンドウの「Windows98 について」をお使いのときの文字化け
- インターネット接続ウィザードでサインアップするときの文字化け

66.FMV 簡単登録について

「FMV 簡単登録」から「FMV ソフトウェア登録」などを行ったときに、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、Windows98 を再起動してください。そのままお使いになると、パソコンの動作が不安定になる場合があります。


なお、登録が完了する前にエラーメッセージが表示された場合は、ご面倒ですが、再度登録作業を行ってください。

67.CPU 名の表示について

Pentium®III または Intel® Celeron™ の CPU を搭載の機種では、次の個所などで、CPU 名が Pentium® II と表示されます。本パソコンの詳しい仕様については、『FMV 本体&オプションガイド』の「仕様一覧」でご確認ください。

- 「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」
- 「アクセサリ」の「システムツール」の「システム情報」

68.FM Advisor の CPU 情報について

FM Advisor の「CPU 情報」の表示を行った際に、CPU 名、CPU クロックが正しく表示されない場合があります。本パソコンの詳しい仕様については、『FMV 本体&オプションガイド』の「仕様一覧」でご確認ください。

69. USB 機器の増設について

複数の USB 機器を増設して同時に使用した場合、USB 機器の動作が不安定になる場合があります。そのような場合は、使用する機器だけを USB ポートに接続してお使いください。

● 機種別情報

1.画面の解像度や色数の変更について

プリシェのみ

色数を High Color(16 ビット)に設定したときに「画面のプロパティ」の「背景」タブの「模様」をお使いの場合は、「Web」タブの「Active Desktop を Web ページで表示」のチェックマークを外してください。このチェックマークがついていると、「模様」が正しく表示されない場合があります。

BIBLO のみ

「画面のプロパティ」内で、ヘルプウィンドウが表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

2.ディスプレイの交換について

DESKPOWER のみ

ディスプレイを別のディスプレイに交換する際には、解像度は 640×480 に、リフレッシュレートは「アダプタの標準」または「最適」に設定してから交換してください。それ以外を設定している場合、ディスプレイ交換後のディスプレイの仕様によっては、画面が表示されない場合があります。

3.ディスプレイドライバについて

Sシリーズ/TIX507 のみ

● 本装置対応のドライバについて

本パソコンに添付している Stealth II G460 および Viper® V550 用ドライバは弊社仕様であるため、ダイヤモンド社の提供ドライバとは、仕様が異なります。

4. ディスプレイアダプタの「Super VGA」の使用制限について

Sシリーズ/TIX507のみ

- 「Super VGA」のご使用は避けてください。ディスプレイアダプタを「Diamond Stealth II G460」または「Diamond Viper® V550」から「Super VGA」に変更を行った直後、表示上の問題が生じる場合があります。
- 800×600 (16 色) はサポートしておりません。ディスプレイアダプタを「Super VGA」に変更し、このモードを選択すると画面が表示されなくなる場合があります。この場合は、ディスプレイドライバを再インストールしてください。

インストール方法については⑤『FMV 本体&オプションガイド』の「ディスプレイドライバをインストールする」をご覧ください。

5. 「コントロールパネル」の「画面」について

Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズ/プリシェのみ

「画面のプロパティ」ウィンドウの「背景」タブの「模様」で「カギ穴」を選択し、画面全体に表示すると、画面が上下に分割されたような表示になる場合があります。この場合は、画面の色数を「High Color (16 ビット)」以外に設定するか、「画面のプロパティ」の「Web」タブの「Active Desktop を Web ページとして表示」のチェックマークを外すと、正しく表示されます。

6. CD-ROM 読み込み中の省電力機能について

BIBLOのみ

CD-ROM 読み込み中に省電力機能が働くと、復帰したときエラーメッセージが表示された青い画面になる場合があります。この場合は、「Enter」キーを押してください。元の画面に戻れます。

7. 増設した拡張カードの MS-DOS 版ユーティリティを使う場合

DESKPOWERのみ

拡張カードを増設し、拡張カードに添付されている MS-DOS 版のユーティリティをフロッピーディスクから起動して使う場合など、プラグアンドプレイに対応していない OS をお使いになる場合は、必ず次の設定を行ってください。次のように設定しないと、拡張カードによっては、お使いのユーティリティに正常に認識されない場合があります。

設定方法については、⑤『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。

- **Sシリーズ/Cシリーズ/プリシェをお使いの場合**
BIOS セットアップの PnP/PCI メニューの「Plug and Play OS」の項目を「No」に設定してください。
- **Mシリーズをお使いの場合**
BIOS セットアップメニューの「PNP/PCI CONFIGURATION」の「PNP OS Installed」の項目を「No」に設定してください。
- **TIX507をお使いの場合**
BIOS セットアップの PnP/PCI メニューの「Plug & Play O/S」の項目を「No」に設定してください。

8. 複数のオーディオソースを録音するとき

DESKPOWERのみ

複数のオーディオソース（マイクやラインインなど）を録音するときは、次の操作を行ってください。お使いの機種によって操作が異なります。


- **TIX507をお使いの場合**
複数のオーディオソース（マイクやラインインなど）を録音するときは、録音コントロールの「再生リダイレクト」を選択してください。「再生リダイレクト」を選択すると、再生コントロールとして出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリューム レベル、バランスなどは再生コントロールのミキサーで操作します。
- **Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェをお使いの場合**
複数のオーディオソース（マイクやラインインなど）を録音するときは、録音マスターの「ループバック」を選択してください。「ループバック」を選択すると、出力マスターとして出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリューム レベル、バランスなどは出力マスターのミキサーで操作します。

● Mシリーズをお使いの場合

複数のオーディオソース(マイクやラインインなど)を録音するときは、レコーディングコントロールの「ステレオアウト」を選択してください。「ステレオアウト」を選択すると、ボリュームコントロールとして出力される音すべてが録音対象になります。この場合、録音するオーディオソースの選択やボリュームレベル、バランスなどはボリュームコントロールのミキサーで操作します。

9.USB キーボードをお使いの方へ



CIX40L/CIX40Lc/CIX35Lのみ

- 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブで、「PS/2 互換マウスポート」を使用不可の状態(「×」マークが表示された状態)にしないことをお勧めします。使用不可の状態にすると、Windows98 を再起動したときにシステムが停止する場合があります。
- Windows98 が Safe モードで起動した場合には、いったんキーボード操作(☒を押して「スタート」メニューを表示させ、「Windows の終了」から「電源を切れる状態にする」を選ぶ)にて本体の電源を切り、マウスを本体背面のマウスコネクタに一時的に接続し直してお使いください。Safe モードで起動しなくなったあとは、電源が切れた状態で、再度マウスを USB キーボードに接続し直してお使いください。マウスコネクタの位置については、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。また、接続する際は、コネクタの向きをよく確認してください。無理に差し込むと、コネクタのピンが曲がったり折れたりすることがあります。

CIX40L/CIX40Lc/CIX35L/MIX36L/TIX507のみ


本パソコンに添付の USB キーボードに接続できるマウスは、標準添付のマウスのみです。標準添付以外のマウスを接続しても、本パソコンでは正常に動作しない場合があります。

Sシリーズのみ

別売の USB キーボードを MS-DOS モードでお使いになる場合は、あらかじめ、BIOS セットアップの「USB Legacy Mode」を「Enabled」に設定してください。BIOS セットアップについては、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。なお、上記のように設定した場合、パソコンをふりだしに戻すときは、必ず『パソコンをふりだしにもどす本』の記載に従ってください。記載のとおりに行わないと、復元できない場合があります。

TIX507のみ

「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「デバイスマネージャ」タブで、「PS/2 互換マウスポート」を使用不可の状態(「×」マークが表示された状態)にしないことをお勧めします。使用不可の状態にすると、Safe モードでマウスが使えなくなります。

なお、「PS/2 互換マウスポート」を使用不可の状態から元の状態に戻した場合は、そのあとに BIOS セットアップの設定値をご購入時の設定に戻してください。ご購入時の設定に戻す手順については、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。

10.Direct3D の HAL(Hardware Abstraction Layer)の使用について

Sシリーズのみ

256 色、True Color(24 ビット)では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション(HAL)はサポートしていません。色数を 256 色、True Color(24 ビット)に設定した状態で、Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度/表示画質に問題が生じる場合があります。この場合は、High Color(16 ビット)をお使いください。

TIX507のみ

256 色では、Direct3D のハードウェアアクセラレーション(HAL)はサポートしていません。色数を 256 色に設定した状態で、Direct3D 対応のアプリケーションを表示させた場合、ソフトウェアでの実行となるため、表示速度/表示画質に問題が生じる場合があります。この場合は、High Color(16 ビット)または True Color(32 ビット)をお使いください。

11.WAVE ファイルまたは MIDI ファイルを再生したときのノイズについて

Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェのみ

WAVE ファイルまたは MIDI ファイルを再生するとき、「プチッ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

12. フロッピーディスクドライブのユニットまたはコンパクトベースの着脱について

BIBLO のみ

フロッピーディスクドライブのユニットまたはコンパクトベースが接続されていない状態で、Aドライブにアクセスすると、しばらく応答がない場合があります。

13. PMset98 について

BIBLO のみ

PMset98 のインジケータを表示してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

- PMset98 の起動中は、**[Alt]**を押しながら**[F4]**を押しても「Windows の終了」ウィンドウが表示されない場合があります。この場合は、タスクバーの何もないところをクリックしたあと、再度操作するか、「スタート」ボタンから「Windows の終了」を選択してください。



14. 音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ

BIBLO のみ

CD の音楽や MIDI サウンドなどを、より良い音質でお聴きになりたい場合には、次の手順で音量コントロールのウィンドウ内の設定を変更してください。

音量コントロールのウィンドウ内のご使用になる項目以外のチェックマークをつけてください。

例) CD から音楽をお聴きになる場合の設定

- 画面右下のタスクバーにあるを右クリックし、「音量コントロールを開く」をクリックします。
- 音量コントロールのウィンドウの「全ミュート」のチェックマークが外れているのを確認し、チェックマークがついている場合は、チェックマークを外します。
- 「CD オーディオ」または「CD」以外のチェックマークをつけます。
- 音量コントロールのウィンドウの右上にある (閉じるボタン) をクリックします。

なお、お聴きになったあとは、必ず初期選択状態に戻してください。

15. CD-ROM ドライブの自己振動と低回転モードの設定について

NEIX26X/NEIX26/NSIX26Xのみ

本パソコンの CD-ROM ドライブはデータ転送速度を高速化するために、CD-ROM を高速に回転させています。このため、お使いの CD-ROM の重心が偏っていると、ディスクの振れによりパソコン本体が振動する場合があります。振動が気になる場合には、次の方法で回転数を落とすことにより振動をやわらげることができます。

なお、CD-ROM ドライブの速度切り替え操作を行う場合、次の点にもご注意ください。

- 速度を切り替える場合には、一度トレーのオープン/クローズをしてから、切り替え操作を行ってください。
- 電源切断状態、または省電力機能が働いた状態になると、回転数が元に戻ります。

NEIX26X/NEIX26をお使いの場合は、まずご使用の CD-ROM ドライブの機種名を確認します。確認方法は、次のとおりです。

- 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 「システム」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 「CD-ROM」をダブルクリックします。

機種名 UJDA150、または UJDA170 が表示されるので、どちらであるか確認します。

回転数を落とす方法は、次のとおりです。

- 電源 ON の状態で、CD-ROM ドライブのトレーを引き出します。
- トレーが開いている状態で、EJECT ボタンを2秒押し続けます。
NEIX26X/NEIX26をお使いで、ご使用の CD-ROM ドライブが UJDA150 の場合は、カシヤカシヤと音がして、低回転モードになります。
NEIX26X/NEIX26をお使いで、ご使用の CD-ROM ドライブが UJDA170 の場合、または NSIX26X をお使いの場合は、カシヤと音がして、低回転モードになります。

回転数を元の速度に戻す方法は、次のとおりです。

- 電源 ON の状態で、CD-ROM ドライブのトレーを引き出します。

2. トレーが開いている状態で、EJECT ボタンを2秒押し続けます。
NEIX26X/NEIX26をお使いで、ご使用の CD-ROMドライブがUJDA150の場合は、カシヤカシヤカシヤカシヤと音がして、元に戻ります。
NEIX26X/NEIX26をお使いで、ご使用の CD-ROMドライブがUJDA170の場合は、カシヤカシヤと音がして、元に戻ります。
NSIX26Xをお使いの場合は、カシヤと音がして、元に戻ります。

16.携帯電話を使って通信する場合

BIBLOのみ

所在地情報を複数登録している環境で、10円メールのように所在地情報の指定ができないアプリケーションをお使いの場合は、あらかじめ次の手順で設定を行ってください。

1. 「コントロールパネル」の「モデム」をクリックします。
2. 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
3. 「登録名」で携帯電話用に作った登録名を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

17.CD Vision について

プリシェ/NR IX30L/NR IX26X/NSIX26X/MF IX26のみ

ビデオウィンドウにマウスポインタを移動するとマウスポインタが消える場合がありますが、動作には問題ありません。

18.赤外線通信について

プリシェ/BIBLOのみ



タスクバーにある赤外線アイコンを右クリックして「赤外線通信を使用可能にする」を選択しても、使用可能な状態にはなりません。赤外線通信を使用する場合は、次の手順で行ってください。

1. タスクバーにある赤外線通信のアイコンをクリックします。
「赤外線モニタ」ウィンドウが表示されます。
2. 「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」にチェックマークをつけます。
すでにチェックマークがついている場合は、いったんチェックマークを外して、再度チェックマークをつけてください。
3. 「OK」をクリックします。

19.電話の音声について

Sシリーズ/プリシェのみ

電話の音声が小さい場合は、次の手順で音声を大きくしてください。

1. タスクバーのをダブルクリックします。
「出力マスター」ウィンドウが表示されます。
2. 「出力マスター」の音量つまみを上にドラッグして、音量を最大にします。
3. 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
4. 「表示するコントロール」の一覧にある「電話」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「出力マスター」に「電話」が表示されます。
5. 「電話」の下にある「ミュート」の左が「口」になっているか確認し、音量つまみを上へドラッグして、音量を最大にします。
6. 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
7. 「表示するコントロール」の一覧にある「電話」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
「出力マスター」の「電話」が消えます。
8. 「出力マスター」ウィンドウの右上にある (閉じるボタン) をクリックします。

20.留守番電話について

Sシリーズ/TIX507/プリシェのみ

スピーカーフォン機能で通話中の FAX 受信について

スピーカーフォン機能で通話中に FAX 受信する場合、自動的に FAX 受信に切り替わらない場合があります。この場合は、留守番電話の「FAX」ボタンから「手動受信」を選択して受信してください。

Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズのみ

ACPI モードで留守番電話をお使いになる場合は、省電力機能を使用しないでください。

BIBLO のみ

通話中の FAX 受信はできません。留守録状態で FAX 受信してください。

NR IX 30L/NR IX 26Xのみ

電話機能の留守番電話をお使いになるには、あらかじめモデムドライバのアップデート(インストール)が必要です。

モデムドライバのインストール方法については、『FMV 本体&オプションガイド』の「モデムドライバをインストールする」をご覧ください。

MF IX 26 のみ

● 留守番電話機能のスピーカーフォン等を使用するとき



インターネットの富士通パソコン情報ページ「FM WORLD」(<http://www.fmworld.ne.jp/>)でご案内する予定です。

21.留守番電話を使用する場合の音量調節について

BIBLO のみ

留守番電話を使用中に音量を調節したい場合は、本体の音量ボリュームを回して調節してください。その際、あらかじめ音量は小さめに設定し、実際の音量を確認してから適切な音量に調整してください。本体の音量ボリュームで設定すると、CD 再生時や WAV 再生時などすべての音量に適用されます。また次の方法でも音量を調節することができます。

● Windows の音量コントロールによる音量調節

タスクバーのを右クリックし、「音量コントロールを開く」をクリックし、音量コントロールのウィンドウの「Aux」、または「Mono In」、または「Phone」の音量つまみをドラッグして調節すると、モデムからの音だけを調節できます。CD 再生音や WAV 再生音などのすべての音量を調節したい場合は、タスクバーのをクリックして表示された画面(サウンドインジケータ)の音量つまみで調節してください。また音量コントロールのウィンドウの「マイク」または「Mic」にチェックマークがついていないとハウリングの原因となることがあります。チェックマークがついていない場合はチェックマークをつけてください。

● 留守番電話によるモデムの音量調節

調節方法は次のとおりです。

1. 「留守番電話」の「機能」をクリックし、表示されたメニューから「音量調節」をクリックします。
2. 「ボリューム」、「スピーカーフォンマイク」のつまみをドラッグして音量を調節します。

22.留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合

BIBLO のみ

留守番電話や FAX 自動受信のアプリケーションをお使いになる場合、省電力機能が働くとアプリケーションが機能しないため動作しません。この場合は、次の手順で、電話が着信したら省電力機能が解除されるように設定してください。

1. タスクバーの PMSet98 をクリックします。
2. 「その他」タブの「電話が鳴ったら、パソコンを元の状態に戻す」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
3. 「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

BIBLO をバッテリーでお使いの場合、上記の設定を行うと、省電力機能が働いているときの消費電力が増加するため省電力機能の保持時間が短くなります。この場合は、AC アダプタをお使いください。

23. ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの場合

BIBLO のみ

FAX自動受信などを行う場合は、お使いの通信アプリケーションの応答するまでのコールの回数を3回以上に設定してください。

24. マイクとスピーカーを使った通話機能について

Sシリーズ/TIX507/プリシェ/BIBLO のみ

電話機能の留守番電話などの通信アプリケーションで、マイクとスピーカーを使った通話機能をお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- 雑音の多い環境での使用は避けてください。マイクに雑音が入ってしまい、十分な通話レベルが確保できない場合があります。
- マイクとスピーカーを使って通常の通話をする場合、マイクに近づきすぎたり過大な音声で話をするとう相手に聞こえる音声が途切れ途切れになることがあります。また、話し始めの音声が相手に聞こえにくいことがあります。
- BIBLO に内蔵されているスピーカーおよびマイクを同時に使用すると、音量によってはハウリングを起こす場合があります。また、内蔵のスピーカーとマイクでは十分な通話レベルを確保できない場合があります。この場合は、市販のヘッドホン/マイクをお使いください。

25. マルチモニタについて

Cシリーズ/Mシリーズのみ

マルチモニタをお使いの場合、リフレッシュレートが「最適」に設定されていると、省電力機能から復帰したときに、リフレッシュレートが変更されてしまう場合があります。リフレッシュレートは各ディスプレイごとに、「最適」と「アダプタの既定値」以外の値を設定してお使いください。

TIX507 のみ

PCI スロットに増設するグラフィックスカードの種類によっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、BIOS セットアップで次に示す項目を設定することをお勧めします。

「Advanced」メニューの「Video Configuration」内の「Default Primary Video Adapter」:AGP


上記の設定を行うと、PCI スロットに実装しているグラフィックスカードはセカンダリアダプタとなります。この場合、セカンダリアダプタとして動作しないグラフィックスカードもあるため、ご購入の際は、メーカーにご確認ください。

26. PC カードをお使いの方へ

BIBLO のみ

PC カードのモデムや PC カード経由のポータブル CD を使うときは、必ず次の手順で設定してください。

なお、ご購入時にはこのように設定されていますので、設定の変更・削除を行わない限り、改めて行う必要はありません。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックします。
システムのプロパティが表示されます。
3. 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
4. 「コンピュータ」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
5. 「リソースの予約」タブをクリックし、「I/O ポートアドレス」をクリックします。
6. 「追加」をクリックして、「開始の値」「終了の値」の欄に次のように入力します。
開始の値(S):230
終了の値(E):233
7. 順次「OK」をクリックします。
「コントロールパネル」まで戻ります。
8. 「コントロールパネル」ウィンドウの右上にある  (閉じるボタン) をクリックします。

27.PCMCIA カードについて

BIBLO のみ

PCMCIAカードによっては Windows98 から電源が切断できなくなる場合があります。この場合は、次の手順で直る場合があります。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックし、「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller」をダブルクリックします。
4. 「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller のプロパティ」ウィンドウの「リソース」タブをクリックします。
5. 「自動設定を使う」のチェックマークを外し、「I/O の範囲」を選択し「設定の変更」をクリックします。
6. 「I/O 範囲の編集」ウィンドウで、値ボックスの数値が「1600-161F」になるように調整します。
7. 「OK」をクリックし、次に「OK」とクリックすると表示される「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウで「はい」をクリックします。
8. 「閉じる」をクリックし、「システムのプロパティ」を終了します。
9. Windows98 を再起動します。

28.デバイスの削除/ドライバの更新について

BIBLO のみ

「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」において、特にサウンドドライバの「デバイスの削除」または「ドライバの更新」を行う場合、「システムの変更」ウィンドウで「はい」をクリックしたあと、再起動に非常に時間がかかる場合があります。

29.IDE の DMA 転送について

M シリーズ/プリシェのみ

「システムのプロパティ」から「デバイスマネージャ」タブを選択して、「CD-ROM」の「DMA」設定を行った場合、本パソコンが正常に動作しない場合があります。「CD-ROM」の「DMA」設定を行わないようにお願いします。

30.MS-DOS の US モードにおけるフルスクリーン・モードへの切り替えについて

Sシリーズのみ

MS-DOS の US モードでのウィンドウ・モードからフルスクリーン・モードへの切り替え (**Alt**) を押しながら「Enter」キーを押します) をすると、画面がずれることがあります。本モードへの切り替えは、MS-DOS の JP モードでのウィンドウ・モードからフルスクリーン・モードへの切り替えを行ったあとで、US モードにしてください。

31.電源投入直後および再起動時のキーボード入力について

Mシリーズのみ

電源投入直後および再起動時に、キーボードを連打しないでください。キーボードが効かなくなったり、本パソコンが動作しなくなることがあります。

32.ATI タスクバーアイコンについて

プリシェ/NRⅨ30L/NRⅨ26Xのみ

ATI タスクバーアイコンを右クリックした際に表示される「ヘルプ」の「ATI TV ディスプレイ」を選択すると、テレビ機能に関する説明が表示されますが、この機能には対応していません。あらかじめご了承ください。

NRⅨ30L/NRⅨ26Xのみ

ATI タスクバーアイコンを右クリックした際に表示される「ATI プログラム」の「ATI Video Player」は使用できません。あらかじめご了承ください。

33. Logitech マウスウェアについて

NR IX30L/NR IX26X/NS IX26X/MF IX26 のみ

Logitech マウスウェアをインストールした環境では、BIOS セットアップの省電力機能時のパスワードは使用しないでください。省電力機能時のパスワードを使用する必要がある場合には、Logitech マウスウェアをインストールしないでください。

34. 「アクセサリ」の「ActiveMovie コントロール」について

NS IX26X のみ

「アクセサリ」の「ActiveMovie コントロール」で画面下の状態表示内容が崩れる場合があります。この場合は、次の手順で正しく表示される場合があります。

1. 画面のアイコン以外の場所で右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
2. 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。
3. 「NeoMagic MagicGraph 128XD のプロパティ」ウインドウの「パフォーマンス」タブの「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」の位置に移動し、「適用」をクリックします。
4. 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。
5. 再起動のメッセージが表示されるので「はい」をクリックします。

35. Word98、Excel97 について


(Word モデルのみ)

プリシェのみ


未確定文字があるときに、省電力機能を働かせるなどすると、復帰したときに未確定文字が確定する場合があります。確定した文字に問題がある場合は再入力してください。

36. VSC-88 について

Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/BIBLO のみ

タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから、「VSC-88 を使う」「VSC-88 を使わない」を切り替えたときなどに、タスクバーの  が 2 つ表示される場合があります。この場合は、開いているウインドウをすべて閉じたあと、VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う」「VSC-88 を使わない」を切り替え直してください。

Mシリーズのみ

タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う」に切り替えたとき、タスクバーに  が青色と黄色で 2 つ表示されますが、動作には問題ありません。そのままお使いください。

このとき、ボリュームコントロールを表示するなど  を利用する場合は、青色の  をお使いください。

Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェのみ





- タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンをクリックすると表示されるメニューで、現在選択されている項目を示す ● が消える場合があります。この場合は、選択し直してください。
- VSC-88 をお使いになるときは、タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使う(標準サウンド)」を選択してください。「VSC-88 を使う(DirectSound)」を選択すると、音が再生されたときにシステムが停止する場合があります。

BIBLO のみ

タスクバーの VSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88 を使わない」を選択した場合、「マルチメディアのプロパティ」ウインドウ(「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます)の設定が次のように変更されることがあります。この場合は、設定し直してください。

- 「マルチメディアのプロパティ」ウインドウの「オーディオ」タブの「再生」の「優先するデバイス」が「VSC-88」に設定される場合があります(ご購入時には、NR IX30L/NR IX26X/NE IX26X/NE IX26/NS IX26X は「ESS AudioDrive」に、MF IX26 は「NeoMagic Audio (WDM) (1)」に設定されています)。
- 「マルチメディアのプロパティ」ウインドウの「MIDI」タブの「単一の機器」が「Sound Fusion(tm)外部 MIDI ポート」に設定される場合があります(ご購入時には、NR IX30L/NR IX26X/NE IX26X/NE IX26/NS IX26X は「ESFM Synthesizer」に、MF IX26 は「SW Microsoft GS Wavetable SW Synth」に設定されています)。

TIX507のみ

タスクバーのVSC-88 ヘルパー・アイコンから「VSC-88を使う(標準サウンド)」に切り替えたとき、タスクバーにが青色と黄色で2つ表示されます。また、「VSC-88を使う(DirectSound)」に切り替えたときにも、が青色と黄色で2つ表示される場合があります。どちらの場合も動作には問題ありませんので、そのままお使いください。このときに、ボリュームコントロールを表示するなどを利用する場合は、青色のをお使いください。

37.筆ぐるめについて

Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズ/TIX507/BIBLOのみ

「おもて」面の「宛て名」の画面で、「項目1」または「項目2」のボタンの名前を変更した場合は、筆ぐるめを終了する前に、「住所録」の画面で「保存」のボタンをクリックし、変更内容を保存してください。

「住所録」の画面で保存せずに筆ぐるめを終了すると、「項目1」または「項目2」のボタンの名前の変更が保存されない場合があります。

38.筆まめについて

プリシェのみ

- 筆まめをお使いのときに、「CD-ROM ディスク 2 を入れてください。」というメッセージが表示される場合がありますが、本パソコンには「CD-ROM ディスク 2」は添付されていません。あらかじめご了承ください。このメッセージが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
- 「イメージファイルブラウザ」で新規にカテゴリを作る場合は、カテゴリ名に”/” (スラッシュ) を含めないでください。カテゴリ名に”/”を含めると、「イメージファイルブラウザ」を終了するときにエラーメッセージが表示され、そのカテゴリは保存されません。
- フォントを設定するウィンドウのフォントの一覧に、インストールされているフォントの一部が表示されない場合があります。この場合は、「コントロールパネル」の「フォント」アイコンをクリックし、「フォント」ウィンドウを表示したあと、再度フォントを設定するウィンドウを表示し直してください(このあと、「フォント」ウィンドウは閉じてかまいません)。

39.筆ぐるめの住所録データを PIM に読み込むときの注意

Cシリーズ/Sシリーズ/Mシリーズ/TIX507/BIBLOのみ

筆ぐるめで作成した住所録データを、PIM の住所録に読み込む場合、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆ぐるめの住所録データを CSV 形式で保存してください。保存する手順については、筆ぐるめのマニュアルをご覧ください。
- PIM で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「汎用 CSV ファイル→住所録[手動設定]」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークをつけてください。
 - 「本体の項目」と「CSV ファイルの項目」の関連付けを行ってください。そのときに、次のように関連付けてください。

本体の項目	CSV ファイルの項目
姓	氏名
フリガナ(姓)	氏名読み
自宅 住所(番地)	自宅住所
勤務先 住所(番地)	会社住所

上記以外の項目については任意に関連付けを行ってください。関連付け方法については、PIM のマニュアルをご覧ください。

- 読み込みが完了したデータは、PIM の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆ぐるめの「氏名」、「氏名読み」は、「個人情報」タブにある「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。

- 筆ぐるめ「自宅住所」は、「自宅」タブの「番地」に入っていますので、「都道府県」、「市区郡庁」などに分けてください。
また、同様に「会社住所」は、「勤務先」タブの「番地」に入っていますので、正しく分けてください。

40.筆まめの住所録データを PIM に読み込むときの注意

プリシェのみ

筆まめで作成した住所録データを、PIM の住所録に読み込む場合は、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆まめで住所録データをテキストファイル(.CSV ファイル)に保存する際に、「項目の選択」ウィンドウで、テキストファイルに保存する住所録データの項目を選択します。このとき、筆まめ住所録ファイルの各項目を、上から順にすべて選択してください。
保存する手順については、筆まめのマニュアルをご覧ください。
- PIM で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「筆まめ Ver.8→住所録」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークを外してください。
 - 「本体の項目」と「CSV ファイルの項目」の関連付けを変更する必要はありません。
- 読み込みが完了したデータは、PIM の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆まめの「氏名」、「フリガナ」は、「個人情報」タブの「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。
 - 筆まめの「住所1」、「住所2」は、「自宅」タブの「町名」、「番地」に入っていますので、「都道府県」、「市区郡庁」などに分けてください。
また、同様に「住所1(会社)」、「住所2(会社)」は、「勤務先」タブの「町名」、「番地」に入っていますので、正しく分けてください。

41.ささと家計簿について

Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ

デスクトップ上での右クリックなどで表示されるメニュー内の「新規作成」から「ALICE Document」は選択しないでください。「ALICE Document」を選択して作成したファイルは、開こうとしたときにエラーメッセージが表示されて開くことができません。

42.SANRIO TINY PARK4 について

Cシリーズ/Sシリーズ/NRIX30L/NRIX26X/NEIX26Xのみ

「けろけろけろっぴのレールブロック」で画面が正しく表示されない場合があります。この場合は、SANRIO TINY PARK4 を起動し直してください。

43.SANRIO TINY PARK4 およびサンリオアクセサリーについて

Cシリーズ/Sシリーズ/NRIX30L/NEIX26X/NRIX26Xのみ

「SANRIO TINY PARK4」をアンインストールすると、同時に「サンリオアクセサリー」もアンインストールされます。アンインストールしたあと、お使いの状況に合わせて次のように操作してください。

「サンリオアクセサリー」をお使いになる場合

添付の⑩『アプリケーション CD』から、「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」を使って「サンリオアクセサリー」をインストールし直します。「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」の使いかたについては、④『困ったときのQ&A』の「アプリケーションをインストールしたい」をご覧ください。

なお、スタートメニューの「アナログ時計」の作業用フォルダは、ご購入時は次のように設定されています。

“C:\Program Files\SANRIO\アナログ時計”（「アナログ」は半角カタカナです。）

インストール直後は上記のように設定されませんので、ご購入時の状態に戻す場合は、インストール後に次の手順で設定し直してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」の順にマウスポインタを合わせて右クリックします。
2. 表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
3. 「アナログ時計のプロパティ」ウィンドウの「作業用フォルダ」の欄に前述のパス名を入力し、「OK」をクリックします。

「サンリオアクセサリー」もアンインストールする場合


次のようにして、スタートメニュー、および、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から、「サンリオアクセサリー」を削除してください。

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から削除する

1. 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
 2. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの一覧から「サンリオアクセサリー」を選択し、「追加と削除」をクリックします。
 3. 「削除のエラー」ウィンドウで「はい」をクリックします。
 4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。
- これで、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの一覧から「サンリオアクセサリー」が消えます。

スタートメニューから削除する

1. 「スタート」ボタンにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの「開く」をクリックします。
 2. 「スタートメニュー」ウィンドウの「プログラム」アイコンをクリックします。
 3. 「プログラム」ウィンドウの「サンリオアクセサリー」アイコンをごみ箱までドラッグします。
 4. 「ファイルの削除の確認」ウィンドウで「はい」をクリックします。
 5. 「プログラム」ウィンドウを閉じます。
- これで、スタートメニューから「サンリオアクセサリー」が消えます。

なお、このあと添付の  『アプリケーション CD』から「サンリオアクセサリー」をインストールし直せば、再度お使いになれます。

44. サンリオアクセサリーについて

C シリーズ/S シリーズ/プリシェ/NR1X30L/NR1X26X/NE1X26X のみ

「デスクトップマスコット」または「メール着信チェッカー」を起動しているときは、デスクトップ上での範囲選択（アイコンを複数選択するときなどに利用）を正しく行うことができず、範囲を示す点線が画面に残る場合があります。デスクトップ上で範囲選択を行う場合は、「デスクトップマスコット」または「メール着信チェッカー」を終了してください。また、点線が残った場合は、デスクトップの何も無いところにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの「最新の情報に更新」をクリックすると、点線が消えます。

45. ロボワードについて

プリシェのみ

- ロボワードのヘルプに音声データについて記載されていますが、本パソコンにインストールされているロボワードでは音声データは使用できません。あらかじめご了承ください。
- 「サンリオアクセサリー」の「デスクトップマスコット」を起動しているときは、ロボワードの翻訳結果（フローティングウィンドウ）が表示されない場合があります。ロボワードをお使いになるときは、「デスクトップマスコット」を終了してください。

46. らくらく写真館について

C シリーズ/S シリーズ/プリシェ/NR1X30L/NR1X26X/NE1X26X のみ

- 「PhotoCard」でカードを編集するときに、「オートアニメ」の「変形」タブの機能を選択すると、処理に時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- PhotoManager の「編集」メニューの「一括加工」をお使いのときに、「サーバー使用中」のメッセージが表示される場合がありますが、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。
- PhotoManager で写真を選択し、ウィンドウを開いて表示したあと、表示倍率を変更すると、次のようになる場合があります。

- 表示倍率を大きく設定すると、スクロールバーが表示されない場合があります。この場合は、ウィンドウのサイズを変更すると、スクロールバーが表示されます。
- 表示倍率を小さく設定すると、ウィンドウ内に画像の一部が残ってしまう場合があります。この場合は、次の手順で、ウィンドウの再表示を行ってください。
 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
 2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

47.「らくらく写真館」と「アクセサリ」の「拡大鏡」を同時にお使いになる場合の注意

Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NR IX30L/NR IX26X/NE IX26Xのみ

「アクセサリ」の「拡大鏡」の起動中は、「らくらく写真館」の「PhotoEffector」を起動できません。同時にお使いになる場合は、いったん「拡大鏡」を終了し、先に「PhotoEffector」を起動してから改めて「拡大鏡」を起動し直してください。

48.おまかせ記文について

(一太郎モデル)

プリシェのみ

「文例ビューア」の「作成開始」または「現在の文書パターンを編集」で、「その他」から一太郎 9 を利用した場合、文書が正しく表示されない場合があります。この場合は、「アクセサリ」の「ワードパッド」などのアプリケーションを利用してください。

49.キーボードマスターについて

プリシェのみ

- 「ローマ字篇」の「ROUND6」をお使いのときに、押すキーによってはエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「続行」をクリックしてください。引き続き操作を続けることができます。
- 「10 キー篇」をお使いになるときは、キーボードの「NumLock」のランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は「NumLock」キーを押してください。「NumLock」のランプが点灯していないと、「10 キー篇」の練習はできません。
- 「かな文字篇」の「キーボードの設定」では、キーの配置として「独自ノートタイプ」は選択できません。「DOS/V 標準 JIS キーボード」を選択してください。
- キーボードマスターを起動中に、新たにキーボードマスターを起動すると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、エラーメッセージとともに表示されているボタンをクリックしてください(どのボタンでもかまいません)。すでに起動していたキーボードマスターに戻ります。
- キーボードマスターで練習中に **[Alt]** と **[Esc]** を同時に押すと、キーボードマスターのウィンドウが正しく表示されなくなったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。この場合は、キーボードマスターをいったん終了し、起動し直してください。

50.ゼンリン電子地図について

Cシリーズ/Sシリーズ/プリシェ/NR IX30L/NR IX26X/NE IX26Xのみ


- 「編集」メニューから描いた鎖線の図形は、正しく印刷されない場合があります。あらかじめご了承ください。
- サポートバーの「施設」タブには、施設名称が一つも登録されていないジャンルがあります。あらかじめご了承ください。
- 3D 表示の状態でゼンリン電子地図帳 Z を終了すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウのボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、Windows98 を再起動してください。

51.Gamepack2000 について

Cシリーズ/Sシリーズ/NR IX30L/NR IX26X/NE IX26Xのみ

- Gamepack2000 の各ゲームをお使いの最中に、次のことを行わないようにしてください。
 - 省電力機能を働かせる
 - 画面の解像度、色数を変更する

ゲーム中に上記のことを行うと、エラーメッセージが表示されたり、ゲームが正しく動かなくなったりする場合があります。この場合は、起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、Windows98 を再起動してください。

また、Windows98 を再起動できない場合は、『困ったときの Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧になり、記載の手順に従ってください。

- 解像度を「1024×768」、色数を「True Color (32ビット)」に設定し、さらに3D マウスポインタに設定している場合に「麻雀」をお使いになると、マウスポインタで牌を選択したときに、選択される牌の位置とマウスポインタの位置がずれる場合があります。この場合は、3D マウスポインタの設定を解除して「麻雀」をお使いください。
- **OASYS モデルのみ**
標準の言語を OAK に設定している場合は、「AirHockey」のタイトル画面で、メニューバーの「ポイント」をクリックしても「ポイント設定」ウィンドウが表示されません。この場合は、標準の言語を MS-IME98 に変更してください。


52.お父さんのための釣りについて

Cシリーズ/Sシリーズのみ



- 「○○○の釣り場」ウィンドウが、次のようになる場合があります。
 - アニメーションが止まる
 - ウィンドウ内での操作が効かなくなるこの場合は、「お父さんのための釣りー川釣り編ー」ウィンドウにマウスポインタを合わせると、元に戻ります。
- 「釣果を見る」の「釣果閲覧」ウィンドウで、「印刷」または「戻る」をクリックしても反応しない場合があります。この場合は、再度ボタンをクリックしてください。

53.Intellisync について

プリシエ/BIBLO のみ

- Intellisync の「サービスセンター」に記載されている、「プーマ・ダイレクト販売事務局」の電話番号および FAX 番号は、1998 年 10 月 1 日より次のように変更されています。お問い合わせなどの際は、ご面倒ですが、下記番号にお問い合わせください。
電話:03-5627-5435
FAX:03-5627-5436
- シンク機能では、全角のファイル名は指定しないでください。全角文字が含まれたファイルを指定すると、正しく動作しません。
- 「ファイル転送」機能のツールバーにある「一覧」ボタンのバルーンヘルプは表示できません。
- 赤外線通信中は、接続設定マネージャの「ローカルデバイス」タブの赤外線のデバイスのプロパティを開いて「IR ウィザード」を行わないでください。
- TranXit がインストールされている機種に Intellisync を上書きインストールした場合、表示されるウィンドウ内に「Transit」と誤記表示されています。
- ネットワークドライブ名に全角の文字が使用されていると、ドライブ名が文字化けする場合があります。
- Intellisync には、いくつかの制限事項があります。お使いになる前に『FMV 本体&オプションガイド』の「その他の注意事項」、または「その他の技術情報」の「赤外線通信ポートをお使いになるうえでの注意」の内容をよくお読みください。
- 「ファイル転送」で接続先が表示されない場合は、次のように設定を変更してください。
 1. 「ファイル転送」の「オプション」メニューから「設定」をクリックします。
 2. 「セキュリティ」タブをクリックします。
 3. 「リソースアクセス」の「ドライブの詳細」を選択します。これで設定は終了です。

BIBLO のみ

- 赤外線通信の相手先には「Tranx3.0」の 4MBbps はお使いになれません。4MBbps で赤外線通信をお使いになりたい方は、相手先のコンピュータに「Intellisync」をインストールしてお使いください。
「Intellisync」は、本パソコン添付の「アプリケーション CD」から、「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」を使ってインストールできます。「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」の使いかたについては、『困ったときの Q&A』の「アプリケーションをインストールしたい」をご覧ください。
- Intellisync をお使いになるときは、必ず BIOS の赤外線通信ポートのモード設定を FIR にしてください(ご購入時は FIR になっています)。

54.TEO について

プリシエ 936T のみ

TEO をお使いになる場合には、次の手順で画面を拡大する設定にしてください。
タッチパネルをご使用の場合に、マウスポインタがペンでポイントした位置に移動するようになります。
(注意: パソコンを再起動すると、画面を拡大しない設定に戻ります。)

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「画面」をクリックします。
3. 「設定」タブの「詳細」をクリックします。
4. 「調整」タブをクリックします。
5. 「LCD パネルオプション」の「イメージをパネルサイズに」にチェックマークをつけます。
6. 「OK」をクリックします。
7. 「OK」をクリックします。


55.AMC 周辺機器が見つかりません。…というメッセージが表示される場合


NRIX30L/NRIX26X のみ

Microsoft Netmeeting などのアプリケーションを起動すると、「AMC 周辺機器が見つかりません。AMC 周辺機器またはケーブルが正しくインストールされていません。」というメッセージが表示される場合があります。動作には問題ありませんが、表示をなくしたい場合は、次の手順に従ってビデオプレイヤードライバを削除してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
3. 「次のソフトウェアは自動的に削除できます。…」の「ATI VIDEO PLAYER」をクリックします。
4. 「追加と削除」をクリックします。
5. 削除を確認するウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックし、画面の指示に従ってアプリケーションを削除します。
削除が終了したら、本パソコンを再起動します。
6. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
7. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
8. 「Windows ファイル」タブをクリックし、「ファイルの種類」の「マルチメディア」をクリックして「詳細」をクリックします。
「マルチメディア」ウィンドウが表示されます。
9. 「ファイルの種類」の「ビデオ圧縮」のチェックマークを外します。
10. 「OK」をクリックします。
11. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
12. 「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

56.MFIX26 の VGA 機能について

- デュアルディスプレイ機能について
デュアルディスプレイ機能は、サポートしておりません。本パソコンにインストールされているドライバは、デュアルディスプレイに設定ができますが、正しく動作しません。本パソコンに添付の  「ドライバアップデート」で、新しいディスプレイドライバをインストールしてください。
- マウスポインタについて
マウスポインタのデザインを「3D ポインタ」などに変更したり、ポインタの軌跡を表示する設定にしてお使いの場合、動画再生中の画面にマウスポインタを重ねると、マウスポインタが再生画面の下に隠れてしまうことがあります。この場合は、マウスポインタのデザインを「(なし)」に変更し、軌跡は表示させないように変更してお使いください。
- Fujitsu SoftPEG Player CD Vision について
SoftPEG CD Vision で Video CD を再生する場合、「Video CD Hi Res/Lo Res V」を「Hi Res」モードに設定すると、再生画面やマウスカーソルの表示に不具合が発生する場合があります。この場合は、「Lo Res」モードに設定してお使いください。

- 「MS-DOS プロンプト」について
 - 「MS-DOS プロンプト」を全画面表示でお使いになると、画面にごみのようなものが表示される場合があります。この場合は、MS-DOS の「CLS」コマンドでクリアしてお使いください。また、「CLS」コマンドでクリアできない場合は、『困ったときの Q&A』の「Q 市販のアプリケーションをインストールしたらパソコンがおかしくなった」をご覧ください、グラフィックスのパフォーマンスを変更してお使いください。
 - 「MS-DOS プロンプト」をお使いの際、画面の表示先(表示デバイス)を切り換えると、まれに「モニタの電源を切る」設定が働いた状態からの復帰、スタンバイからの復帰、および Save To Disk (ACPI モードでは休止状態)からの復帰で、表示先が切り換わってしまう場合があります。「MS-DOS プロンプト」をお使いの際は、画面の表示先を切り換えないでください。また、このような状態になった場合は、「Fn」キーを押しながら「F10」キーを押して表示先を LCD に切り換え、本パソコンを再起動してお使いください。
- 仮想スクリーンについて

仮想スクリーンモードで、「画面のプロパティ」の「設定」タブの「詳細」をクリックして表示される、「NeoMagic」タブをクリックすると、画面が左上にジャンプする場合がありますが、動作には問題ありません。
- 液晶プロジェクタの使用について

「Advanced Settings」ウィンドウの「外付けディスプレイデバイス」を「プロジェクタ」に変更し、「プロジェクタの設定」の「種類」を接続するプロジェクタに合わせてください。なお、True Color の場合は、プロジェクタに設定できません。色数を True Color 以外に変更してお使いください。

なお、「Advanced Settings」ウィンドウは次の手順で表示できます。

 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「画面」をクリックします。
 3. 「設定」タブをクリックします。
 4. 「詳細」をクリックします。
 5. 「NeoMagic」をクリックします。
 6. 「詳細」をクリックします。
- 色数を True Color に変更するとき

色数を True Color に変更するときは、「Advanced Settings」ウィンドウの「外付けディスプレイデバイス」を「CRT」に設定してから変更してください。

なお、「Advanced Settings」ウィンドウは次の手順で表示できます。

 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「画面」をクリックします。
 3. 「設定」タブをクリックします。
 4. 「詳細」をクリックします。
 5. 「NeoMagic」をクリックします。
 6. 「詳細」をクリックします。
- Windows98 スクリーンセーバーについて

スクリーンセーバーに「Windows98」を設定した場合、スクリーンセーバーで表示されるブロック表面の模様にごみのようなものが表示される場合があります。この場合は、スクリーンセーバーの「設定」にある「速度」の値を増やし、ブロックの移動速度を変更してお使いください。
- Windows98 を ACPI モードでお使いになるときについて

Windows98 を ACPI に設定してお使いの場合、省電力機能から復帰するとき、一瞬表示が乱れる場合がありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。

57.MF IX 26 のサウンド機能について

- まれに本パソコンから出力されるサウンドが雑音になることがあります。この現象は再起動することによって正常に戻りますので、本パソコンを再起動してお使いください。
- Wave ファイル、または MIDI ファイルを再生中に、サウンドレコーダなどで録音すると、サウンドに雑音が混ざります。ファイル再生中の録音はしないでください。
- サウンド再生中に Save To Disk (ACPI モードでは休止状態)にすると、復帰後に再生が再開される音が雑音になります。この場合は、一度サウンド再生を停止させてください。その後は正常なサウンドが再生されます。
- 本パソコンは (Windows98 でお使いの場合)、ZV カードからのサウンドはサポートしておりません。

58.「CD ボタンハンドラ」について

(Windows 動作時のマルチベイヤダブタの音楽 CD 再生用ボタン操作について)

MFIX26 のみ

「CD ボタンハンドラ」は、Windows 動作時に、マルチベイヤダブタの音楽 CD 再生用ボタンを操作できるようにする、常駐アプリケーションです。

- 「CD ボタンハンドラ」が対応する音楽 CD 再生アプリケーションは、Windows95 および Windows98 に付属の「CD プレイヤ」、および Windows98Plus の「デラックス CD プレイヤ」です。「CD ボタンハンドラ」をお使いの場合は、これらのアプリケーションを本パソコンからアンインストールしないでください。
- Windows 付属の「CD プレイヤ」以外のアプリケーションを音楽 CD 再生アプリケーションに設定している場合、「CD ボタンハンドラ」によって起動される「CD プレイヤ」が正常に動作しない場合があります。この場合は、音楽 CD 再生アプリケーションを次のように設定してお使いください。

`C:\windows\cdplayer.exe`

- 「CD ボタンハンドラ」で、「PLAY/PAUSE」ボタンを一度押しても、再生や一時停止ができない場合がまれにあります。この場合は、もう一度「PLAY/PAUSE」ボタンを押してください。
- 本パソコンに電源が入った状態で、マルチベイヤダブタから内蔵 CD-ROM ドライブユニット、または内蔵 DVD-ROM ドライブユニットを取り外し、その後マルチベイヤダブタの音楽 CD 再生用ボタンを操作した場合、画面にエラー表示ウィンドウが2つ表示されます。この場合は、どちらも「OK」をクリックしてウィンドウを閉じてください。その後のパソコンの動作に支障はありません。

59.本体電源が OFF の状態で、マルチベイヤダブタを CD プレイヤーとしてお使いになるとき

MFIX26 のみ

マルチベイヤダブタに内蔵 CD-ROM ドライブユニットや、内蔵 DVD-ROM ドライブユニットを接続した場合、まれにマルチベイヤダブタの「CD 再生 On/Off」ボタンが動作しない場合があります。この場合は、マルチベイヤダブタのケーブルをパソコン本体側から取り外し、再度接続して下さい。

60.マウスポインタの機能について

TI507 のみ

マウスポインタの機能である「ポインタの軌跡を表示します」は設定しても動作しません。

61.FMV-123(ISA-SCSI カード) 使用時のエラーメッセージについて

TI507 のみ

FMV-123 (もしくは Adaptec 社製 AHA-1540CP) をお使いの場合に、次のメッセージが表示される場合がありますが、動作には問題ありません。

「CAUTION:Active device conflict detected! Error=10 CSN=1 LDN=0

Conflicting device may not function as expected!

Press any key to continue...」

メッセージを表示させたくない場合は、FMV-123 の SW 設定を NOT BOOTABLE に設定してください。

62.「アクセサリ」の「イメージング」のご使用について

TI507 のみ

「アクセサリ」の「イメージング」をお使いの際は、256 色でご使用ください。High Color および True Color においてお使いになると、正常に表示できません。

63.オプションカードを増設した場合の MS-DOS ご使用上の注意

TI507 のみ

オプションカードを増設した場合、Windows の終了メニューから起動する MS-DOS モードでは USB キーボードから文字入力ができず、MS-DOS がお使いになれない場合があります。この場合は、リセットスイッチなどで Windows を再起動し、「スタート」メニューの「プログラム」から「MS-DOS プロンプト」を起動して MS-DOS をお使いください。

64. 省電力機能について

TIX507のみ

省電力機能から復帰したあと、「Creative MISC デバイス」にある「Creative SB16 エミュレーション」のデバイス名が表示されなくなる場合がありますが、デバイスの動作には問題ありません。本パソコンを再起動すると、デバイス名は正常に表示されます。

65. キーボードのパスワードのロックについて

TIX507のみ

本パソコンは、BIOS で「User Password」を設定し、「Unattended Start」を「Enabled」にすると、PS/2 キーボードを接続した場合には、本パソコン起動時にキーボードをロックする機能がありますが、「Legacy USB Support」を「Enabled」にしている場合には、お使いになれませんのでご注意ください。

66. リモート電源投入機能について

TIX507のみ

本パソコンには、BIOS の設定により、標準の内蔵モデムに接続した電話回線からの着信や、PCIスロットのPME (Power Management Enabled)信号により電源を入れる機能がありますが、停電後や電源プラグをコンセントに接続し直したあとは、本機能はお使いになれません。この場合は、一度本パソコンを再起動させてお使いください。

Microsoft および Windows、WindowsNT、MS、MS-DOS、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。

1-2-3、Notes は、Lotus Development Corporation の商標です。

一太郎、ATOK、FullBand は、株式会社ジャストシステムの登録商標、または商標です。

広辞苑は、株式会社岩波書店の登録商標です。

K56 flex は、Lucent Technologies 社、Rockwell International 社の商標です。

Viper は、Directed Electronics 社の登録商標で、株式会社ダイヤモンド・マルチメディア・システムズは、ライセンス許可の下に使用しています。全ての権利は、Directed Electronics 社が所有しています。

その他の各製品は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright®富士通株式会社 1999

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

お使いになるうえでの注意事項

B3FH-A428-04-00

発行日 1999年2月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- ・本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- ・無断転載を禁じます。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。